マイクロコンピューター搭載。どこまで進化するのかラジオカセット。

メタル&フェザータッチ

TRK-8800 ¥84,800

●高級デッキなみの操作感覚フェザータッチ ●2モーターシステムが可能にした高精度回転ワウ・フラッター0.06%(W.R.M.S) ●メタルテープの性能をフルに引き出すメタル対応ヘッド搭載 ●曲の頭出し思いのまま、繰り返し聞けるリピートデジタル選曲機構 ●テープを初めから終わりまで繰り返し自動演奏するオートリワインドプレイ機構

●2ウェイ・4スピーカーシステム(16cmウーハー×2+5cmツイーター×2) ●実用最大出力10W(5W+5W) EIAJ/DC ●大きさ 幅55.6×高さ31.8×奥行17.3(cm) ●重さ 8kg(乾電池含む)

★選曲のために、曲と曲との間に3秒間以上の無信号部分が必要です。

HINT

くらしを豊かに…
「日立新技術シリーズ」
日立の新技術・新アイデアから生まれた代表商品です。このエレクトロニクスの基本技術は、日立カセットレコーダーに共通して生かされています。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI RADIO CASSETTE RECORDER

HITACHI

上手に使って上手に節電

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

お求めは、お手軽なお支払い 日立のクレジット

★ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合、クレジットがご利用いただけます。
★商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

●日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり大切に保存してください。

世界学生選手権代表決まる

全日本学連は、12月28日から来春1月4日までフランスで行われる第8回世界学生選手権（ユニバシアード・ハンドボール）に出場する日本代表チームの役員、選手18名を決めた。

今春、各地学連から推せんされた候補選手を中心にして選考され、4人のナショナルプレイヤーを含む強力な布陣である。

代表チームは、12月16日午後9時3分成田国際空港発の日航423便で出発、フィンランドで親善試合を行ったのち、23日ごろフランス入りする予定。

役員、選手名のプレス発表は、12月7日大阪で行われる。

世界学生選手権に日本が参加するのは3回連続4度目のこと。

日本（全日本学生）がユニバシアードに参加するのは4度目だが今回ほど、主力選手に国際キャリアがあるのはめずらしい。

4人のナショナルプレイヤーのうち、GK井藤(日体)は、幻のオリンピック代表者の一人であり、これまでの国際試合でも、その好守は高く評価されている。

西山（筑波）と猪野、尾上（ともに中央）は、昨年の世界ジュニア選手権の代表で、特に西山は同大会の個人得点3位というみごとな実績をもっている。

このほか、村崎(早稲田)、粟屋（同志社）、GK中尾（大阪経大）は、一昨年、全日本学生がニューカレドニア諸島にフランスナショナルと滞同した時の遠征メンバーで、左腕、村崎の鋭い攻撃力は注目を浴びたものだ。

また、溝部(日体)、尾上(中央)三本松（国士館）らは、関東学連の行うヨーロッパ遠征に加っており、本場の味を知っている。

レギュラーを予想されるこれらのメンバーが、海外経験を有していることは、大会に臨むにあたって、無形のプラスである。

このほか、矢島(筑波)、植村、東根(ともに早稲田)、GK上村（中京）らのプレーは、国内試合で充分、その力を評価されており、玉村(大阪体大)、柏原（福岡大）両新鋭のスケールの大きい攻守が外国チーム相手に、どこまで発揮されるかも、注目される。

これまで、日本の最高の成績は記録の上では初参加の時の7位だが、この時は参加国が7カ国だけその後の試合ぶりからすれば、ナショナル同よう8～12位とみるのが順当だ。

それだけに、かつてないキャリア豊かなプレイヤーを揃えた今回は、宿願の「6位内入賞」が大きな目標である。

監督の藤原侑氏は第1回大会の代表選手、大西コーチは第6回世界選手権代表とこれまた国際経験充分である。

日本チームは、本大会の前、フィンランドに立ち寄り、フィンランドジュニアナショナルや強豪BV・カルヤなどと親善試合を行ない、フランスでもルアンで地元クラブと2試合を予定している。

なお、西ドイツの専門誌は26日西ドイツ学生ナショナルと日本学生の試合がフランクフルトで行われると予告しているが、全日本学連は訪独の予定はない、といっている。

斉藤、千野審判員も"出場"

日本協会では、世界学生選手権の滞同レフェリーとして、国際ライセンスを持つ斉藤実、千野恒夫両氏を決めた。

滞同レフェリーは大会規定に示されているが、日本が派遣するのは初めてのこと。

平岡編集長も同行 本誌・平岡秀雄編集長は、日本協会強化部からの視察員として全日本学生選抜軍に同行する。

第8回世界学生選手権 日本代表選手団

▽役員

- 団　長　中沢　重夫（全日本学連理事長）
- 監　督　藤原　　侑（全日本学連競技委員）
- コーチ　大西　武三（全日本学連競技委員）

▽選手

	氏名	所属・学年	身長	出身校
・GK	□井藤　英忠	（日　体4）	185cm	下関中央工
	中尾　順一	（大経大4）	183	大阪商
	上村　幸彦	（中　京4）	178	高知追手前高
・FP	村崎　　広	（早稲田4）	183	府中商
	東根　明人	（早稲田4）	183	盛岡一高
	植村　　彰	（早稲田4）	180	東山商
	□猪野　栄一	（中　央3）	180	駒大高
	尾上　良生	（中　央3）	180	大阪学院
	□矢島富士雄	（筑　波4）	185	上田高
	□西山　　清	（筑　波3）	181	氷見高
	溝部　　潔	（日　体4）	178	下関中央工
	三本松俊雄	（国士館4）	178	学法石川高
	玉村　健次	（大体大2）	182	大阪商
	粟屋　敏則	（同志社4）	172	岩国高
	柏原　卓幸	（福岡大2）	181	久留米工大付

▽日本協会強化部視察員

木野　　実（日本協会ジュニア担当コーチ）
平岡　秀雄（日本協会強化部コーチ群）

- □印はナショナルプレイヤー
- （　）内の数字は学年

『ハンドボール』55年12月号(第193号)目次

【表紙写真】日本リーグ男子最終日、大同×湧永の二強は互いに譲らず引き分け。シューターは蒲生（大同）11月30日
【スポーツ・イベント提供】

世界学生選手権

「6位内入賞」を目指す日本

第8回世界学生選手権は12月28日から来春1月4日までフランスの19都市を会場に、世界16カ国の学生ナショナルチームが参加して開かれる。

本誌1頁所報のとおり、日本（全日本学生選抜軍）はメンバーも正式決定、3回連続4度目の出場をするが、大会の話題などを追ってみた。

この大会は、本来去年のくれに西ドイツで行われる予定であったところが、西ドイツが主会場地に西ベルリンを決めたことから、ソ連などが反対、エントリーが行われる前に、宙に浮いてしまった。

そのため、大会回数は第8回と連続しているものの会期は、これまでの2年ごと開催が一つとんだ勘定で、前回から数えて4年ぶりということになった。

西ドイツ大会が〝流会〟同様の消滅をしたこともあって、フランスが引き受けを表明すると同時に、これまでにないほど多くの国が参加をほのめかし、全日本学連にも10月上旬「あるいは予選が行なわれるかもしれない」といった情報が流れてきていた。

結局エントリーの多かったヨーロッパの一部とアフリカで予選が行なわれたようで、日本は、アジア地域から唯一の参加国ということもあってか、本大会出場（3回連続4回目）をはたせた。

本大会に集る16カ国の顔ぶれで注目されるのは、アメリカ、ブラジル、コート・ジボアール、ナイジェリア、コンゴといったヨーロッパ地域以外からの初出場国が多いことである。

これらの国のハンドボール活動は、国際舞台で大きな活躍は示していないものの、以前から熱心につづけられており、特にジュニア層の充実は、近年目ざましいと伝えられる。

今大会への登場は、将来、シニアの躍進につなげる強化策の一環であることは、まず間違いない。

勝機少ないソ連戦

さて、大会は、出場16カ国を4カ国づつ4組に分けて予選リーグ各組上位2カ国が、準決勝リーグへ進む。

日本は、前回4位、過去優勝2回、準優勝2回の実績をもつソ連と、前述のコンゴ、ブラジルと同じ組（B組）に加った。

コーチングスタッフは「最低前回の8位、できれば6位内入賞」を目標としてあげているが、これを果すには、予選リーグで2勝以上が必要だ。

メンバーが分からずとはいえ、どのような顔ぶれになっても、ソ連から勝利をあげるのは、かなり難しそうで、コンゴ戦（12月28日）ブラジル戦（29日）の序盤2戦に全力投球することとなろう。

といっても、両国学生チームに関するデータが揃っていて、勝算がはじける、というわけではない。

両国の、主としてシニア（ナショナルチーム）の、国際的な実績から判断して、日本の有利を占う以外にない。

チュニジア、アルジュリアなどの壁を、なかなか破れないでいるコンゴ戦は太鼓判としても、ブラジル戦は、軽視を許されない。

ブラジルの球史は古く、世界選手権出場の経験もあるし、ラテンカップをはじめ、国際キャリアの豊富さはアメリカ大陸勢では屈指である。

特に近年は、ジュニア層への強化に熱を入れており、ヨーロッパ遠征もしきりである。

日本が「ブラジル」の名だけで楽な相手とのんでかかると、足元をすくわれかねない。

ソ連との一戦はどうだろうか。

おそらく、ソ連は、190cm台の有望な若手をズラリと揃えて、国際経験を積ませる絶好のチャンスとばかり、強力チームを、これまでどおり送りこんでくるだろう。

日本のテクニカルな攻撃とスピーディな展開が、どこまで通じるか、「相手も同じ学生」と考えれば、まったくつけこむスキがないとはいえないだろうが、卒直のところ、勝機は少ない。

とりたいハンガリー戦

予選リーグを、予定どおり2勝1敗で通過すれば、準決勝リーグ1組の日本の相手は、おそらくハンガリー、フランスだろう（ほかにソ連も加わると予想されるが、日本×ソ連戦の予選の成績が持ちこまれる）

日本としては、準決勝リーグ進出で「ベストエイト」の目標は確保されるわけだが、ハンガリー、フランスのどちらかを食って、是非、「6位内」の成果をあげて欲しい。

といっても、ハンガリーは、前回初参加ながら5位、フランスも学生ハンドボールには、長い歴史を持っており、今大会のホスト国として名乗りをあげたことでも、

これまでの日本の成績

◇**第1回**（昭38・スウェーデン）

▽予選リーグA組

スウェーデン 26（13－12、13－3）15 日本

デンマーク 34（21－5、13－6）11 日本

スペイン 31（17－6、14－3）9 日本

日本は7位

◇**第6回**（昭50・ルーマニア）

▽予選リーグD組

ユーゴ 32（17－10、15－11）21 日本

ブルガリア 29（14－11、15－14）25 日本

▽9～12位決定リーグ

フランス 29（14－13、15－10）23 日本

日本 22（7－6、15－6）12 イタリア

日本 25（10－15、15－8）23 チュニジア

日本は10位

◇**第7回**（昭52・ポーランド）

▽予選リーグB組

ポーランド 36（18－11、18－9）20 日本

ルーマニア 24（13－10、11－9）19 日本

チュニジア 24（11－15、13－6）21 日本

日本 棄権 ベルギー

▽7・8位決定戦

ブルガリア 26（12－12、14－13）25 日本

日本は8位

その自信の一端を、うかがい知ることができる。

日本にとっては、手強い相手だが、いつまでも、このクラスの壁に撥ね返されているようでは、「6位内」は、掛け声ばかりの印象を与えることになる。

ハンガリー、フランスのどちらが狙いやすいかというと、「ハンガリーではないか」とみる人が意外に多い。

フランスは、地元という有利さもあるし、学生界のレベルは長身選手を軸にかなりのものがある。

その点、ハンガリーは、攻守ともオーソドックス、日本にとって比較的、戦い易い相手といえるようだ。

前回、優勝とみられたチュニジア戦に不覚をとり、「6位内」をみすみす逃した日本は、なんとか今回、準決勝リーグで1勝をあげ宿願を果して欲しい。

連勝かけるルーマニア

優勝争いは、準決勝リーグ1組のソ連×フランス（またはハンガリー）の勝者対ユーゴ×ルーマニアの勝者と予想するのが順当。

いずれも東欧勢、シニア、ジュニアなどと同じ形勢といえる。

ソ連のカードは、常識的にはソ連有利、同国の決勝勝ちあがりは確定的だが、ユーゴ×ルーマニアは、前回の決勝カード、今回も予断を許さない。

ルーマニアは、今回勝てば、73年の第5回大会以来の4連覇を成し遂げることになる。

それだけに、張り切ってこの大会に臨むだろうし、このところシニアが沈滞気味だけに、この大会あたりで気勢をあげるきっかけをつかみたい、という国家スタッフの望みもかけられている。

一方、ユーゴも、シニアの新旧交替期だけに、これまた、前回の雪じょくを果したうえ、一気に〈学生世界一〉の座へ、かけ上がりたいところだろう。

ソ連×ルーマニア、ソ連×ユーゴの決勝は、学生大会とはいえ、ワールドタイトルをかけるにふさわしい内容となりそうだ。

28才まで出場OK

ここで、この大会でいう「学生」について触れておこう。

主催者・FISU（国際学生スポーツ連合）の看板事業は、学生オリンピックといわれる「ユニバシアード」大会だが、この総合競技会に含まれていないハンドボールの世界学生選手権も、当然のことながら「ユニバシアード」の諸規則が適用される。

この規則によれば「学生」という資格は、日本などでいうそれとはかなり違う。幅があるのである。

大学在学中の選手は、当然のこととして主な点は次の通りだ。

①17才以上の「学生」であること

②一九八〇年一月一日に28才以下であること

③一九七九年内に卒業した「元学生」も参加できる

④人口200万人以下または学生数が五千以下の国の普通科高校（グラマースクール）、工業高校（テクニカルスクール）の最上級2学生も参加できる。

日本の学連規程などと比べるとだいぶ趣きが異なる。

特に、28才までの学生が認められるのは、欧米の特殊事情によるものだし、元学生の参加は、各国によって、卒業期期日が異なることを補うための規則とみてよい。

日本では、過去3回も今回も、「学生」に限定してチームを編成しているが、これまで帰国待のコーチングスタッフや選手たちは、「各国には学生以外の選手も含まれていた」といった話をよくしていた。

しかし、それは、前述のような規定をフルに活かしての出場で、けして、勝たんがための規則違反ではないのである。

多くの国際試合で活躍した選手が「学生」を名乗るほとんどのケースは高校卒業後、ちど就職してそのあと大学入学したものである

今回は、日本選手も1頁所報のとおり、かなりキャリアがあるがこれまでは、この大会が初の訪欧という選手が圧倒的に多かった。

その面でも、各国とハンデがあったのは、間違いない。

レフェリーは各国が滞同

学生選手権ならではのルールはレフェリーにもみられる。

大会のレフェリーは、いずれも国際ライセンスが必要なことは当然だが、他の世界選手権と異るのは、参加各国が2名（1組）のレフェリーを滞同する点だ。

この、いわば持ち寄りのレフェリーと、IHF（国際ハンドボール連盟）派遣の2組のレフェリーによって大会は運行されるが、これは経費の節減を狙ってのもの。

今回、日本は初めてレフェリー滞同（斉藤実、千野恒夫両氏）を実現したが、これまでは、規定の費用を分担して〝義務〟をはたしていた。

斉藤・千野ペアは、日本人として初めて「世界」というビッグステージでジャッジすることになるわけである。

ところで、フランスは来春2月男子の世界選手権Bグループも自国に招いている。わずか三カ月ほどの間に、二つの「世界選手権」を迎えるのは大したものだと思う。

73年の第5回大会（スウェーデン）以来、久々に〝西側〟での開催、史上3度目のフルエントリー（16カ国）という盛況が、大会を盛りあげることは確実で、日本の活躍とともに成果を期待したい。

第8回世界学生選手権 組み分け

〔A組〕
ハンガリー⑤
マダガスカル×ナイジェリアの勝者
フランス
アメリカ

〔B組〕
日　本
ソ　連④
ブラジル
コンゴ

〔C組〕
ユーゴ②
ブルガリア⑦
スペイン
コート・ジボアール

〔D組〕
ルーマニア①
西ドイツ
ベルギー
イスラエル

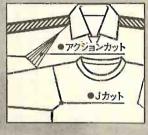
・○内数字は前回順位

〔B組の日程〕
・12月28日
日本—コンゴ
ソ連—ブラジル
・12月29日
日本—ブラジル
ソ連—コンゴ
・12月30日
コンゴ—ブラジル
日本—ソ連

〔準決勝リーグ組み分け〕
・1組
A組1．2位
B組1．2位
・2組
C組1．2位
D組2．1位

(注) 準決勝リーグは1月1日と2日
順位決定戦は1月4日

勝ちぬく速攻メカ。

「ザ・スタジアム」ハンドボールウェア。腕の動きをケタ違いに高める「アクションカット」「Jカット」により、速攻機能をグレードアップ。まさにハンドボールのための、身につける武器だ。ボールをゴールにたたきこむ、とっておきのメカだ。世界選手権をはじめ、ヒノキ舞台で活躍するデサントのノウハウが、いま、コートで吠える。——

STUDIUMはデサントの登録商標です。

THE STADIUM®

DESCENTE

《本格派》デサント・ハンドボールウェア「ザ・スタジアム」

がんばれ！ニッポン！
協賛(JOC-G承認109)

1980 MOSCOW
JOC-MS-2-80-1

デサントはアディダス社と共にモスクワ五輪に協力しています。

株式会社デサント

ア大会（82年インド）でハンドボール実施へ

本誌編集委員会が、信用すべきアジア・スポーツ界の消息筋から得た情報によると、ＡＧＦ（アジア競技連盟）は、一九八二年インドで行なう第9回アジア競技大会でハンドボールを初採用することを確定した。

正式決定は、12月上旬インドで開かれるＡＧＦ評議員会で行なわれる模様。

同大会のハンドボールは、いったん採用が伝えられたが、その後、インド側の規模縮少で、今夏には削除されたと報じられた。

しかし、ＡＨＦ（アジア・ハンドボール連盟）は、今夏以降、強力な巻き返しをはかっており、この努力が報いられたものといってよい。

なお、ハンドボールは七四年のＡＧＦ総会（テヘラン）で、アジア大会種目となりながら、七八年のバンコク大会では採用されていなかった。

世界ジュニアの予選確定的

世界ジュニア選手権(男女)のアジア予選実施が確定的となった。

同選手権のエントリーは、11月30日に〆切られるが、日本協会の得た情報によると、日本（男女）のほか、台湾が男女に、韓国が女子に出場意思を示していることが明きらかとなった。

このほか、中国、クウェート、インドも参加を検討中と伝えられる。

本誌既報のとおり、ＩＨＦ（国際ハンドボール連盟）は、ジュニアの世界選手権も、参加国を16に限定すると決め、アジア、アフリカ、アメリカ各大陸からの参加は各1カ国に規定した。

今回、台湾などのエントリーが明きらかとなりアジア予選の実施がさけられぬことも確実となった。

アジア地域からの出場申しこみが何カ国になるかは、12月なかばに正式判明するが、ＩＨＦは、すでに大陸予選は来年4月1日から6月30日までの間と指示してきている。

アジア予選の期日については、現時点では、まったく白紙だが、早ければ、4月に行われるケースもあるわけで、ジュニア対策の早急な具体化が望まれる。

なお、韓国は男子のエントリーは行わない模様。

世界選抜軍、グンメルスバッハに敗れる

ＩＨＦ編成による「ワールド・オールスターズ(男子)」は、11月23日ドルトムント（西ドイツ）で「Ｊ・デッカルム選手激励試合」として、デッカルムのホームクラブ、ＶｆＬ・グンメルスバッハ（西ドイツ）、26日「スウェーデン協会創立50周年記念試合」としてヨテボリでスウェーデンナショナルと対戦した。

約一万二千の大観衆を集めたグンメルスバッハとの一戦は、グンメルスバッハの鋭い攻守が、急編成の「ワールドオールスターズ」を上回るという予想もしない展開となり、グンメルスバッハが1点差で勝利をあげた。

スウェーデンとの対戦は、スターズが本来の力を発揮、快勝した。

▽第1戦（11月23日）

ＶｆＬ・グンメルスバッハ（西独） 21（13—11, 8—9）20 ワールド・オールスターズ

▽第2戦（11月26日）

ワールド・オールスターズ 28（11—13, 17—11）24 スウェーデン

☆ワールドオールスターズ・ＧＫ（イチエンコ(ソ連)、バータロス（ハンガリー）、ホフマン（西ドイツ）・ＦＰツーリング、フーバー（ともにスイス）、スジラギル、コントラ(ともにハンガリー)、カルジンスキー、クレンペル（ともにポーランド）、スティンガ、ボワナ(ともにルーマニア)、キドヤエフ、クラフゾフ(ともにソ連)、クルースパイス、アーレット（ともに西ドイツ）、ユリナ(ユーゴ)

ホンコンで単独チーム大会

ホンコン協会は、このほど来春3月ホンコンで男子の国際トーナメントを開く意向のあることを明きらかにし、近く、日本などに招待状を送る。このトーナメントはナショナルチームによるものではなく、各国の代表的な単独チームによるもので、参加チームは所属都市の代表という形を探る。

此花学院が韓国遠征

大阪・此花学院高校(男子)は、12月21日から26日まで韓国・釜山市に遠征、同国ナンバーワンの東亜高などと4～5試合を行う。

日本の高校チームが、定期的な日韓高校交流とは別に、単独で遠征するのは52年の北海道高校（男子）選抜につづいて今回が2度目

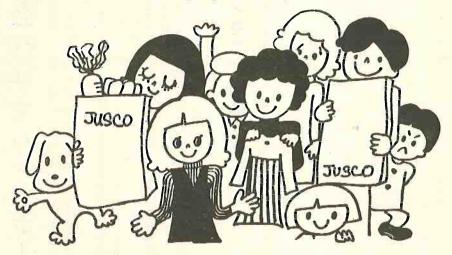
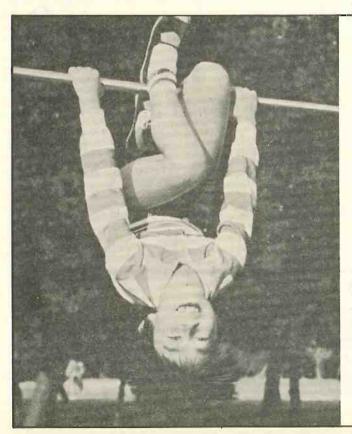
うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってのけるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。

カラーテレビ・ラジオ・カセッター
カラカセ50
CX-50 標準価格110,000円（アンテナ・工事費別）

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は（〒100）東京都千代田区霞が関3-2-4霞山ビル 日本ビクター（株）インフォーメーション・センター〈TEL東京 03-580-2861〉へ ●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC
日本ビクター株式会社

暮らしへの奉仕を合言葉に。

鉄はともだち

石から銅へ、銅から鉄へ。人類がくらしの中に鉄をとりいれてから、既に3000年以上もの年月がたっています。いま、鉄はわたしたちの生活に深く結びつき、社会を支えるたいせつな役割をになっています。鉄の力強い手ごたえ、じょうぶで、加工しやすく、資源にも恵まれている鉄。新日鉄は、社会のさまざまなニーズに対応して鉄のもつこの豊かな特長を余すことなく引きだすために、新しい技術の開発や資源・エネルギーの有効利用など幅広い分野で、多くのテーマととりくんでいます。

新日本製鐵

東京で「レフェリーコース」

15〜20日エリアス氏講師に

日本協会は、国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）の規則審判委員エリック・エリアス氏（スウェーデン）を招いて行なう「日本協会レフェリー・コース」の日程を別表のように決め、各都道府県協会、関係者に発表した。

同コースは、来年8月1日から施行される競技規則の解説と、国際審判員を目指す日本人レフェリーに対する実技指導の二点が大きな目的となっている。

当初は、エリアス委員から技術戦術面の指導も受ける予定がたてられていたが、エリアス氏のＩＨＦにおける所属が、規則審判委員会(ＰＲＣ)のため、〝レフェリー論〟一本にしぼることとなった。

また、本誌前号でお伝えした12月21日の体協地下講堂における講演会は中止された。

アジア地域からの受講者募集については、積極的に呼びかけることをせず、あくまで対象は、国内となった。このためＢライセンスからＡへの昇格検定は行われないエリアス氏は12月14日に来日の予定。

日本協会レフェリーコース日程

	時間	内容	場所
12月 15日(月)	9.30〜10.00 10.00〜10.30 10.30〜12.00 13.00〜14.00	受付 開講式 講議 新競技規則解説	日本青年館会議室
16日(火)	9.00〜12.00 13.00〜14.00	講議 新競技規則解説 実技指導(ペーパー)	日本青年館会議室
17日(水)	休養日		
18日(木)	9.30〜19.20	実技指導	都体育館
19日(金)	9.00〜12.00 13.00〜14.00 15.00〜19.50	実技指導（体力） 実技指導(ペーパー) 実技指導（実技）	都体育館
20日(土)	9.00〜12.00	実技指導（体力） 質疑応答 閉講式	日本青年館会議室

クウェートでも審判講習会

アジアハンドボール連盟（ＡＨＦ）は、このほど12月27日から来年1月2日までクウェートで「国際レフェリー講習会」を開くことになった、と発表した。

同講習会には、国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）から、カール・ワン審判規則委員長が出席すると伝えられる。

また、ＡＨＦは日本協会に対しこの講習会へ日本の最優秀レフェリー・ペアが一組派遣されることを希望している。

日本協会では、12月11日の緊急常務理事会で、この講習会に対する態度を決める予定。

来年5月に「4カ国対抗」か

中国、東独、アメリカを同時招待

日本協会は11月22日東京での常務理事会で、懸案の来年度国際事業について協議した。

その結果「ジャパン・カップ（男子）」の名で計画していた国際大会を前向きに検討する、という荒川清美理事長の提案を支持、具体化に着手する、という注目すべき決定をみた。

この計画は、来年上半期に来日を希望している中国と、来日を交渉中の東ドイツを、一本にまとめるほか、アメリカ招待を加えて、日本を含む「四カ国対抗大会」にする、というものである。

日本協会が、一時に三カ国以上の外国チームを招くのは初めてのことだけに、実現すれば、全国愛好者に大きな興味を与えることになる。

常務理事会では、すでに会期を5月23日から31日までの9日間と決定し、5月30日は東京体育館での開催を確定、あとの8日間は東京または名古屋、大阪とするよう申し合せた。

問題は、中国、東ドイツとも、これまでの来日打診は、別々のシリーズで折しょうしており、中国は女子ナショナルを滞同し4月、東ドイツ男子（モスクワ・オリンピック優勝チーム）は5月とされている点だ。

また、アメリカとは、これまでほとんど接触がなく、新たに交渉をはじめる。

荒川理事長は四カ国集結が難しければ三国対抗とでもといっており、なりゆきが注目される。

全日本男子、久々の合宿

6月の「解散試合」（東京体育館、本誌第139号）のあと、活動を休止していた男子ナショナルチームは、10月のメンバー発表をうけて、11月10日から4日間名古屋で久々の強化合宿を行った。

すでに、来年度内に世界選手権のアジア予選が確定的なほか、クウェート国際(2月)、中国、東ドイツ来日の情報などがあるため緊急招集されたもので、20名の選手が参加「再出発」を誓った。

なお、日本協会強化部では、早ければ年内に、男女のジュニアナショナル（第3回世界ジュニア選手権候補選手）を選考することも明らかにした。

スイスでＩＨＦコーチ講習会

ＩＨＦ(国際ハンドボール連盟)は、来年5月17日から23日までスイスのマクリンゲンで「ＩＨＦトレーナー(コーチ)シンポジウム」を開くと正式発表した。

同シンポジウムには、各国のナショナルチームコーチングスタッフ男女各1名が出席できる。

日本協会では、コーチングスタッフのなかから人選して派遣と決めており、近く荒川強化部長（理事長）竹野、池田両ナショナルチーム監督が協議する。

立石電機、混戦の女子を制す（4年ぶり 2度目）

日本リーグ 男子は大同、湧永に「得失点差」

男子は大同特殊鋼（愛知）のV3、女子は立石電機（熊本）の鮮やかな逆転優勝——9月から全国各地で激戦をつづけていた第5回日本リーグは、11月に入って、各チームとも最後のスパートをかけ、興奮の度合を高めた。

男子は、大同、湧永薬品（広島）を追う本田技研鈴鹿（三重）が両者との対戦を残し、波乱を期待させたが、大同、湧永の堅陣はゆるがず、最終日、二強が4勝同士で顔を合せた。大同優勢の展開だったが、湧永も粘り、13－13の同点で終了、優勝は総得失点差66－54で大同が湧永をおさえ、3年連続4度目の優勝を決めた。

3位をかけた本田×日新製鋼（広島）戦は、本田が久々に地力を発揮、日新の宿願に待ったをかけた。日新と大阪イーグルス（大阪）も本田と同勝ち点だが、総得失点差でイーグルスが5位に落ちた。

一方、女子は、史上に残る壮烈なペナントレースとなった。10月終了時、トップに立っていた日立栃木（栃木）が、ジャスコ（三重）に土をつけられ、ジャスコ戦をすでにとっていた立石電機（熊本）が大きく浮上。さらにブラザー工業（愛知）も日本ビクター（茨城）を破り争覇圏にとびこんだ。

第6週、ブラザー、日立、立石、ジャスコは順当勝ちして横一線。

第7週、日立、ジャスコが後退して立石、ブラザーの両者に優勝はしぼられたが、こうなるとブラザー戦をものにしている立石が圧倒的に有利。最終日を前に、立石は大崎電気（埼玉）を押し切って6勝1敗とし、第1回以来2度目の優勝を飾った。

2位にはブラザーが初めて食いこみ、前年優勝のジャスコは3位、2位以下に落ちたことのないビクターが初の5位でBクラスとなった。好スタートの日立は結局4位、大崎も前年と同じ6位にとどまった。

なお、立石、ブラザーは同勝ち点(12)だが、両者の対戦で勝っている立石が規定で上位になったもの。来年の第6回リーグは6月から男子6、女子8チームで行われる予定。

男子

◇**第4週**

▽11月2日・沖縄

湧永薬品 25（9－9 16－6）15 本田技研鈴鹿

○…湧永の動きの鈍さをついて本田は10分5－2と好スタートを切った。

調子の波に乗った時の本田は強い。20分9－5とリードし、スタンドを沸かせたのだが、そのあと守りに荒さがのぞいて5分間に3本のPTを与え、ハーフタイム寸前、同点に追いつかれてしまった。

	【本田】	得	【湧求】	得
GK	柴田	0	福井	0
GK	大畑	0	大城	0
FP	田上	1	津川	3
FP	佐藤	6	穂積	5
FP	喜井	1	志賀	0
FP	豊岡	2	戸田	2
FP	佐々木	4	山本	8
FP	矢野	1	池ノ上	3
FP	西田	0	生駒	1
FP	高橋	0	藤本	0
FP	谷元	0	内田	0
FP	坂本	0	松本	3

（審・森 島田）

25（5） PT （1）15

後半も互角の出足だったが、湧永は5分すぎから松本、山本の巧技でようやくペースをつかみ、15分17－12として落ちついた。

本田は、せっかく主導権を握りながら、わずかな乱れで相手に立ち直らせてしまう相変らずのもろさをみせ、今年もどうやら〝台風の目〟になることは、できそうになくなった。

▽11月3日・高岡

日新製鋼 32（12－11 20－9）20 三陽商会

	【三陽】	得	【日新】	得
GK	田村	0	三田	0
GK	吉近	0	西川	0
FP	関	4	泉	4
FP	金子	2	徳田	11
FP	坪子	1	大庭	4
FP	山口	4	吹上	2
FP	鵜沢	4	脇若	1
FP	尾形	3	吉見	7
FP	稲木	1	洞ケ瀬	2
FP	石原	0	森	1
FP	大熊	1	日野	0
FP	斉藤	0	甲斐	0

（審・徳前 山口）

32（3） PT （2）20

○…Aクラスを目指す日新、連敗脱出を企る三陽、両者の斗志で前半は、なかなか見応えがあった

ところが、勝負をかけた後半、15－14のあと日新が小気味のよいパスワークから得点を加えたのに対し、三陽は、単発、強引なプレーが目立ちはじめ約10分間無得点日新は15分24－14と大差をつけて勝負を決めた。

三陽はディフェンスにも粘りがなく、前半の激しいせりあいとはうって変って、後半はスタンドの失望をかう拙戦だった。

▽同・大阪

大同特殊鋼 34（15－9 19－9）18 大阪イーグルス

	【大阪】	得	【大同】	得
GK	本田	0	柳川兄	0
GK	信貴	0	山本	0
FP	高橋	5	中井	4
FP	源野	3	柳川弟	3
FP	大西	5	大原	9
FP	河原崎	0	中本	2
FP	福井	1	浦田	3
FP	辻本	3	蒲生	10
FP	足羽	0	花輪	2
FP	杉尾	0	更谷	0
FP	三谷	1	小野	1
FP	勝本	0	桐山	0

（審・幸田 新井）

34（3） PT （2）18

○…大同は2分浦田で先行、大阪も大西のポストで同点、さらに高橋の速攻で2－1とする元気な滑り出しだった。

しかし10分を過ぎるあたりから総合力が出はじめ、大同は蒲生の連続得点などあって着々とリード20分すぎからは、ほとんど一方的に攻めまくった。

後半、大阪もなんとか反撃を狙うのだが、大同は大原が絶妙のプレーを連発させ15分26－11、勝負を決めた。

◇**第5週**

▽11月9日・岐阜

大同特殊鋼 23（8－7 15－5）12 本田技研鈴鹿

	【本田】	得	【大同】	得
GK	大畑	0	柳川兄	0
GK	柴田	0	山本	0
FP	田上	5	蒲生	11
FP	佐藤	1	浦田	0
FP	喜井	2	中本	2
FP	豊岡	2	大原	4
FP	佐々木	0	柳川弟	3
FP	矢野	1	中井	1
FP	吉山	0	更谷	0
FP	坂本	1	小野	2
FP	谷元	0	桐山	0
FP	高橋	0		

（審・新井 幸田）

23（1） PT （1）12

○…本田は、湧永戦につづきこの日も、前半はすばらしい攻守で大同にわたりあった。

先手は大同が蒲生のシュート力を活かしてとっていたが、本田は15分すぎ3－5から、大同がシュートミスを繰り返しているのにつけこんで追撃、豊岡の2点を喜井などで20分6－5と逆転した。

大同はようやく20分から攻撃がまとまりはじめ、柳川弟の速攻が

連続決まって、再びリードをとったが(8—6)、本田も、前半終了間ぎわ、佐藤のゴールで、勝負を後半へ持ちこんだ。

しかし、本田は、ハーフタイムをはさんで、前週同よう、がくっとチームの調子が変わり、蒲生、小野らに射ちこまれて10分13—7と点差があき、10分すぎ田上が2点を返したものの、反撃の勢いを呼びおこすには遠かった。

本田はこれで3連敗、今シーズンの勝ちこしはなくなった。

◇第6週

▽11月15日・四日市

本田技研鈴鹿 22（13—11、9—6）17 三陽商会

	【三陽】	得
GK	田村	0
GK	吉近	0
FP	金子	3
FP	稲木	0
FP	山口	2
FP	鵜沢	0
FP	尾形	5
FP	関	3
FP	大熊	2
FP	石原	0
FP	斉藤	0
FP	坪子	2

	【本田】	得
GK	柴田	0
GK	大畑	0
FP	田上	5
FP	佐藤	4
FP	喜井	4
FP	豊岡	2
FP	佐々木	1
FP	矢野	2
FP	西田	1
FP	高橋	0
FP	谷元	0
FP	坂本	3

（審・川島 森）

22（1）PT（2）17

○…3敗同士の対戦だったが、点のとりあいで、かなりもつれた。最初のヤマ場は、前半20分6—5から本田が田上、佐藤両ベテランで3点連取、9—5としたところだ。

このあたり崩れ出すともろい三陽の弱点が出た。

後半、三陽の粘りが期待されたが、点差を縮めるべきスタートの10分間、あまりにも攻撃の芽が少なく、10分8—13と開かれて、その後の展開を味気ないものにしてしまった。

第5回日本リーグ勝敗表（1部）

〔男子〕	大	湧	本	日	イ	三	P	勝	分	負	得点	失点
①大同特殊鋼	…	△	○	○	○	○	9	4	1	0	130	64
②湧永薬品	△	…	○	○	○	○	9	4	1	0	128	74
③本田技研鈴鹿	●	●	…	○	●	○	4	2	0	3	90	102
④日新製鋼	●	●	●	…	○	○	4	2	0	3	94	113
⑤大阪イーグルス	●	●	○	●	…	○	4	2	0	3	98	138
⑥三陽商会	●	●	●	●	●	…	0	0	0	5	91	141

〔女子〕	立	ブ	ジ	日	ビ	大	北	東	P	勝	分	負	得点	失点
①立石電機	…	○	○	●	○	○	○	○	12	6	0	1	117	69
②ブラザー工業	●	…	○	○	○	○	○	○	12	6	0	1	105	82
③ジャスコ	●	●	…	○	○	○	○	○	10	5	0	2	119	89
④日立栃木	○	●	●	…	●	○	○	○	8	4	0	3	88	84
⑤日本ビクター	●	●	●	○	…	△	○	○	7	3	1	3	102	92
⑥大崎電気	●	●	●	●	△	…	○	○	5	2	1	4	87	98
⑦北国銀行	●	●	●	●	●	●	…	○	2	1	0	6	56	97
⑧東京重機	●	●	●	●	●	●		…	0	0	0	7	59	122

（注）・男子は大同—湧永が同勝ち点となり，両者の対戦も引き分けのため総得失点差66—54で大同が1位。
・女子は立石—ブラザーの勝者・立石が1位。

▽11月16日・坂戸

大同特殊鋼 27（14—5、13—4）9 日新製鋼

	【日新】	得
GK	西川	0
GK	筒本	0
FP	泉	1
FP	徳田	1
FP	大庭	3
FP	吹上	0
FP	脇若	1
FP	吉見	1
FP	洞ヶ瀬	2
FP	日野	0
FP	甲斐	0
FP	森	0

	【大同】	得
GK	柳川兄	0
GK	山本	0
FP	中井	3
FP	柳川弟	3
FP	蒲生	11
FP	浦田	2
FP	大原	4
FP	中本	1
FP	桐山	0
FP	小野	3
FP	花輪	0
FP	更谷	0

（審・上久保 北井）

27（5）PT（2）9

○…日新の地力を問う絶好の一戦だったが、大同のすばらしいディフェンスに、立ち上り16分間ノーゴールにおさえられ、しかも放ったシュート7本という低調で、あっさり、勝負のメドがついてしまった。

大同は、上り坂の日新をかなりマークしていたようで、攻守とも気合が入っていた。

日新は、立ちあがり、すぐに得たPTが得点となっていれば、あるいは気分的にも、もう少し食い下る余地を見出せたかもしれない。

大同は、湧永戦へ向けていちだんの充実を示した。

◇第7週

▽11月22日・熊本

湧永薬品 40（21—6、19—5）11 大阪イーグルス

	【大阪】	得
GK	本田	0
GK	信貴	0
FP	高橋	1
FP	源野	0
FP	大西	3
FP	河原崎	0
FP	福井	5
FP	辻本	0
FP	足羽	0
FP	三谷	1
FP	勝本	1
FP	千野	0

	【湧永】	得
GK	福井	0
GK	大城	0
FP	津川	7
FP	池ノ上	5
FP	山本	6
FP	松本	6
FP	戸田	5
FP	志賀	0
FP	穂積	1
FP	生駒	7
FP	藤本	0
FP	内田	3

（審・島田 森）

40（4）PT（0）11

○…前週、ライバル・大同が日新戦をきっちりとした攻守で勝ちとったことを湧永は、意識していたようで、この試合では、今シーズン最高のデキを示し、食い下ろうとする大阪をねじ伏せた。

◇第8週

▽11月29日・東京

大阪イーグルス 23（10—9、13—13）22 三陽商会

	【三陽】	得
GK	吉近	0
GK	田村	0
FP	関	5
FP	金子	1
FP	坪子	1
FP	稲木	1
FP	山口	5
FP	石原	2
FP	大熊	2
FP	鵜沢	0
FP	尾形	5
FP	斉藤	0

	【大阪】	得
GK	本田	0
GK	信貴	0
FP	高橋	4
FP	源野	3
FP	足羽	0
FP	大西	4
FP	河原崎	2
FP	福井	3
FP	辻本	7
FP	三谷	0
FP	勝本	0
FP	飯田	0

（審・島田 後藤）

23（3）PT（1）22

○…三陽は、この一戦をとれば最下位脱出とあって、これまでにない粘りをみせたが、大阪は、残り2分で得たゴールを必死に守り切って、三陽を突き放した。

試合は一進一退というより乱戦前半20分7—7のあと、残る10分間に、両チームとも6点づつを入れ合ったのだからすさまじい。

後半は、大阪が好スタートを切って、いちぢは4点をリードしたが、三陽は10分すぎ3点連取で追いあげた。

大阪は20分20—18からのPTで再び3点の優位に立ったが、三陽はよく粘り25分20—21と詰め寄って、予断を許さなくした。

26分大阪は大西で22—20、三陽も30秒後、関で21—22。その直後のPTを大阪は逸して、流れは一気に三陽へ傾くかと思えたが、チャンスをつかみ切れず、大阪は28分10秒福井が貴重なゴール、23—21とし、そのあと三陽の反撃を1点におさえて逃げ切った。

▽同・呉

本田技研鈴鹿 24（11—7、13—6）13 日新製鋼

	【日新】	得
GK	三田	0
GK	西川	0
FP	泉	0
FP	徳田	1
FP	大庭	7
FP	吹上	0
FP	洞ヶ瀬	2
FP	脇若	2
FP	森	0
FP	吉見	1
FP	日野	0
FP	甲斐	0

	【本田】	得
GK	柴田	0
GK	大畑	0
FP	田上	7
FP	佐藤	4
FP	喜井	4
FP	豊岡	4
FP	佐々木	3
FP	矢野	2
FP	高橋	0
FP	谷元	0
FP	坂本	0
FP	吉山	0

（審・岡村 中村）

24（2）PT（2）13

○…優勝争いから見放されたとはいえ本田には過去4年連続3位の面目があった。

一方の日新。上り坂、成長株といわれるホープだ。

それだけに、この一戦はファン関係者の注目を浴びた。

ところが、勝負のメドは、あっけなくついた。

日新ディフェンスが気負いすぎたのか、立ち上りまったくまとまりを欠き、ベテラン揃いの本田につけこまれたのである。

2分田上のゴールで先行した本

田は3分佐々木、6分田上、7分喜井とたたみかけた。
　拙いことに日新は、この失点に攻めのリズムまで崩し、15分間10本のシュートのうち、決まったのは9分大庭の1点だけ。15分8―1と意外な大差がついた。
　こうなると、本田の試合運びは老巧。じっくりチャンスを待って田上、豊岡が確実にゴールを決めた。
　後半、日新はどうにか調子を戻したが、はずみのついている本田のリズムを断ち切ることはできず完敗をよぎなくされた。
　一部で、「本田、日新の交替」などといわれるなかで、本田が意地をみせたともいえる一戦だった。
　これで、日新は、宿願の3位入りを逃し、本田、日新、大阪の三者が同勝ち点、対戦も三すくみのため、総得失点差の争いとなり本田(マイナス12)、日新（マイナス19)、大阪イーグルス（マイナス40）の順となった。
　本田が負け越したのは初めて。

▽同・名古屋

大同特殊鋼　13（8―6　5―7）13　湧永薬品
引き分け

得	【大同】		【湧永】	得
0	柳川兄	GK	福井	0
0	山本	GK	大城	0
3	中井	FP	津川	2
0	松原	FP	生駒	0
2	花輪	FP	穂積	0
0	柳川弟	FP	藤本	0
1	中本	FP	志賀	0
0	大原	FP	戸田	0
0	浦田	FP	内田	0
7	蒲生	FP	松本	2
0	更谷	FP	山本	5
0	小野	FP	池ノ上	4
13（3）		PT		（3）13

（審・三枝、千野）

○…予想どおり、期待どおりの無キズ対戦。スタンドは満員にふくれ上り、好ムードで両者の登場を迎えた。
　ビッグチームの対戦は、僅かな破たんが、命とりになる。そしてそのシーンは、たいてい後半、スコアが10～15点の間である。
　ところが、この試合は、それを思わす場面が、意外に早く来た。
　前半5分2―2から大同は4点を連続して奪ったのだ。
　この間に湧永は4本のシュートを失敗している。この4点差が湧永に重荷となるのは明きらかだった。
　しかし、湧永は15分すぎ一気に4点を奪還する闘志をみせた。6―6である。
　大同は、15分以降、蒲生がPTを含め連続5本のシュートをはずしていたが、同点に追いつかれるや、28、29分豪快に快まって8―6とリードを守った。
　後半、湧永はすばらしい気力をみせ4分松本、5分山本で8―8序盤のつまづきを、完全に回復したばかりか、8分松本で逆転、10分PTで10―8と逆に優位に立った。GK福井も好調、湧永の勢いは加速がつくのではと思えた。
　大同も粘る。13分PT、15分花輪で同点（10―10）のあと、17分中井で逆転という渋とさをみせた場内の興奮度もあがる。文字どおりの死闘。
　湧永は20分PTで11―11、21分津川で12―11、大同も花輪がすぐに追いかけ12―12。
　残り5分を割る。息ずまるような攻守、その緊張を大同は27分ベテラン中井が破る。13―12だ。
　湧永必死の反撃は28分20秒PTをつかみ、山本が決めた。13―13
　残り1分、騒然たる場内でついに両チームとも決め手がなく引き分けた。
　終ってみれば、悔いの残るプレーもある両チームだろうが、さすがに国際レベルにある対戦、激闘の日本リーグをしめくくるにふさわしい白熱した攻防戦は、見応えがあった。

大同・野田清監督の話　若手の成長でチームに厚味が出来、ベテランの起用を要所にしぼれた。またディフェンス力の充実が優勝に結びついた。好ムードなので四冠王をぜひ果したい。

湧永・木野実監督の話　大同戦は悔いが残る。それ以外に言葉はない。

松本、4年連続の得点王

日本リーグは、最終日、今シーズンの個人表彰選手を別掲のように決め発表した。
　今シーズンから最多得点はフィールドゴールとPTに分けて表彰される。
　受賞選手のなかでは、松本（湧永）の4年連続最高得点率と、加藤（日ビ）の5年連続ベストセブンが光る。

第5回日本リーグ個人表彰選手

◇……男子……◇

▼ベストセブン
GK　柳川　清（大同）①
FP　蒲生晴明（大同）④
　　大原真造（大同）①
　　津川　昭（湧永）④
　　山本伸二（湧永）①
　　佐藤要二（本田）④
　　大庭　泰（日新）①
▼最多得点選手
34．蒲生晴明（大同）④
（フィールドゴールのみ）
▼最高得点率選手（得点王）
0.643　松本義樹（湧永）④
▼最多ペナルティ得点選手
15．山本伸二（湧永）①
▼最優秀監督
野田　清（大同）①

◇……女子……◇

▼ベストセブン
GK　井村文光子（立石）①
FP　紀野奈々美（立石）②
　　竹内　保子（ブエ）①
　　松下　仁美（ジャ）③
　　加藤美起子（日ビ）⑤
　　島田さゆり（日立）④
　　西　　典子（大崎）①
▼最多得点選手
23　八木千津子（北国）①
（フィールドゴールのみ）
▼最高得点率選手（得点王）
0.581　桑原広子（立石）①
▼最多ペナルティ得点選手
16 {紀野奈々美（立石）①
　 {小島　和子（日ビ）①
▼最優秀監督賞
井　　薫（立石）①
（注）○内数字は受賞回数

待望の本格的マガジン
スポーツイベント
ハンドボール
——毎月20日——
全国書店にて発売
売り切れの場合は、書店にお申し込みください。書店で取り寄せてくれます。
株式会社　スポーツイベント
〒110 東京都台東区池之端2－1－39
（DSビル5F）
TEL（03）824－2501（代表）
¥500 お近くに書店のない方は、直接編集部にお申し込みください。発行と同時にお送りいたします。

こんなとき便利な

ダイワ キャッシュカード。

日常のお引き出しに…
カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…
ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45～午後6:00(土曜日は午前9:00～午後2:00)まで、またマークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…
お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーやマークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…
給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を
預金も
信託も…
大和銀行

ジャスコ、ブラザー戦落とす
好ペース息切れた日立栃木

女子

◇第4週

▽11月2日・沖縄

立石電機 14（5—5 9—6）11 ジャスコ

【ジャ】		得
GK	矢部	0
	山本一	0
FP	平田	0
	松下	0
	山本二	3
	横山	1
	若田	0
	辻本	7
	林	0
	宮崎	0
	松岡	0
	今里	0

【立石】		得
GK	井村	0
	荒木	0
FP	姫野	3
	桑原	1
	木下	2
	紀野	6
	藪田	0
	羽立	2
	喜久山	0
	亀園	0
	岩村	0
	近藤	0

14（3） PT （0）11

○…重苦しいような前半のあと後半は、互いに激しい攻めをみせ好試合となった。

特に立石は5分6—6のあと、紀野の好リードから姫野、木下、羽立が多彩に攻めこんで4点を連取したのは鮮やかだった。

ジャスコも15分すぎ、辻本の活躍で22分11—11と追いつく粘りをみせたが、このあと守りが荒くなり二本のPTを奪われるなど、自滅ともいえる試合ぶりで退いた。

立石は、11—11とされても焦らず、終盤のチャンスを確実にモノにしたのが、勝因といえる。

この一戦の結果が、かつてない女子のペナントレース展開の序幕となることは、もちろん、この時点では分からぬものであった。

なお、第1回以来、全試合に出場し得点をあげていたジャスコ松下がついにノーゴール、女子で唯一人の快記録にピリオドを打った。

▽11月3日・高岡

日本ビクター 19（9—7 10—2）9 東京重機

【重機】		得
GK	佐久間	0
	加賀谷	0
FP	寺西	2
	古谷	0
	川本	2
	斉藤	0
	沖山	3
	鈴木久	1
	森田	0
	大前	0
	宮田	1
	鈴木希	0

【日ビ】		得
GK	渡辺	0
FP	加藤	5
	小島	6
	染谷	0
	岩城	0
	伊藤	3
	村上	1
	志村	2
	中根	1
	池田	1

（審・村井 田嶋）

19（3） PT （2）9

○…重機は10分4—2とリードを奪う健闘をみせ、そのあとを楽しませたが、ビクターは半ばすぎから強引な攻めで主導権を奪いとり、16分PTで6—5と逆転してからは危気ない試合運びをみせて重機を突き放した。

重機は、やや一部チームとしてのスタミナに欠けるきらいがある。

日立栃木 16（8—5 8—4）9 大崎電気

○…スピードプレーの応しゅうで面白かった。

互角の序盤から日立は15分すぎ島田、毛塚の活躍で先行しはじめた。

【大崎】		得
GK	藤村	0
	梅野	0
FP	西	3
	陽田	2
	石井	1
	渡辺	1
	徳渕	0
	江島	1
	根間	1
	宮島	0
	西島	0
	嘉本	0

【日立】		得
GK	寺沢	0
	斉藤	0
FP	吉田	0
	島田	7
	箕輪	0
	小根沢	0
	水上	2
	毛塚	5
	前田	0
	大輪	1
	粟原	0
	西山	1

（審・越田 竹野）

16（2） PT （2）9

大崎も粘りこんで後半8分8—10とし、反撃に興味を集めたが、そのあと西のシュートがはずれて追いこみのチャンスを逃した。

日立は10分すぎの3点連取で大勢を決め3勝をマーク、優勝争いの単独トップに立った。

▽同・大阪

ブラザー工業 12（8—2 4—5）7 北国銀行

【北国】		得
GK	酒谷	0
	辻	0
FP	中山	0
	本田	0
	木戸	0
	千歩	0
	木内	0
	八木	6
	西出	0
	坂	1

【ブ工】		得
GK	屋比久	0
	中村	0
FP	杏原	1
	竹内	1
	則武	1
	増永	2
	植田	2
	山村	4
	塩谷	0
	尾崎	0
	松下	0
	後藤	1

（審・新村 井上）

12（2） PT （1）7

○…ブラザーのペースが上っている。この試合も15分までに6点連取、一方的な展開とした。

北国は、なんとか点差を詰めようとして狙う千歩のシュートが、惜しいところで阻止され、18、19分ようやく八木が持ちこんだだけで前半を終った。

後半、北国は18分5—9まで寄ったが、ブラザーには余裕があり終盤加点して、押し勝った。

ビクターつまづく

◇第5週

▽11月9日・岐阜

ジャスコ 14（8—7 6—5）12 日立栃木

【日立】		得
GK	寺沢	0
	斉藤	0
FP	吉田	0
	島田	7
	大輪	0
	小根沢	0
	水上	2
	毛塚	3
	手打	0
	箕輪	0
	粟原	0
	前田	0

【ジャ】		得
GK	矢部	0
	山本一	0
FP	松下	6
	林	1
	山本二	1
	横山	1
	若田	2
	辻本	3
	平田	0
	宮崎	0
	松岡	0
	今里	0

（審・井上 新村）

14（2） PT （3）12

○…栃木国体以来、乗りに乗っていた日立が、ついに土をつけられた。

互いに攻め口を研究されながらも、好調同士らしく鮮やかに相手ディフェンスを崩し、特に日立はPTを活かしながら18分6—4とリードをとった。

しかし、ジャスコは20分松下の巧技で1点差としてから、動きがいっそう鋭くなり、一気に逆転、いちどは同点（7—7）とされたが24分松下で再び先行、前半を終えた。

後半、ジャスコはいきなり4点を奪って主導権を握ったかとみえたが、さすがに日立は自信をつけてている。逆に4点連取というみごとな反撃で、たちまち1点差とした。

こうなると、どちらともなく慎重になるのが女子の試合だ。

動きが消極的となって1点づつを入れあっただけで、残り時間2分を割った。

23分30秒日立は攻撃失敗で、ほとんど勝利の望みがなくなり、その気落ちをみすかされたように、24分辻本に射ちこまれ2点差、連勝にストップをかけられた。

日立としては7—12から11—12と盛り返したあと、妙に固くなったのが惜しい。

ここでもう一歩詰めていれば、好調なだけに勝利を望めた。逆に勝負どころを耐えたジャスコ守備陣は賞される。

ブラザー工業 15（9—10 6—4）14 日本ビクター

【日ビ】		得
GK	渡辺	0
FP	加藤	1
	小島	4
	染谷	2
	岩城	1
	伊藤	4
	池田	2
	村上	0
	中根	0
	志村	0

【ブ工】		得
GK	屋比久	0
	中村	0
FP	杏原	7
	山村	3
	植田	2
	増永	0
	塩谷	0
	則武	3
	竹内	0
	小平	0
	尾崎	0
	松下	0

（審・安芸 吉田）

15（1） PT （3）14

○…ブラザーが驚くべき逆転劇を演じ、自から優勝戦線へ躍りあがると同時に、ビクターを大きく後退させた。

残り5分を割って13—14、もちろんブラザーは勝利をあきらめていたわけではないが、それまでの流れからビクターの逃切り濃厚だ

った。

ところが、ブラザーは残り3分則武で同点（14—14）のあと、進境めざましいロングヒッター杏原がみごとなシュートを突き刺して逆転、ビクター2回の反撃を守り切って勝利を握ったのである。

ビクターは前半10—6、後半13—10と優位の場面が二度もあり、しかも残り10分では14—12だったのだ。慎重にあと1点をとっていれば失なう試合ではなかった。

やはり手駒の不足なのだろうか

▽同・長岡

立石電機 24（14—2 10—5）7 東京重機

得	【立石】		【重機】	得
0	井村	GK	佐久間	0
0	荒木	GK		
1	姫野	FP	寺西	1
1	桑原	FP	古谷	0
5	木下	FP	川本	4
11	紀野	FP	斉藤	2
3	薮田	FP	沖山	0
3	羽立	FP	鈴木久	0
0	喜久山	FP	森田	0
0	亀園	FP	宮田	0
0	岩村	FP	鈴木希	0
0	近藤	FP	宮下	0
		（審・田嶋 加藤）		
24（9）		PT		（2）7

○…にわかに優勝の望みが出て来た立石は、リーダー紀野のリーグ新記録（11ゴール）をはじめ、多彩な攻撃で圧勝した。

立石のPTによる9点もリーグ新、PT両軍合計11はリーグタイである。

これで日立、立石、ブラザー、ジャスコの4チームが3勝1敗、立石は三者との対戦をすでに終えているだけに、がぜん優勝の色が濃いものとなってきた。

大崎電気 16（8—4 8—4）8 北国銀行

得	【大崎】		【北国】	得
0	藤村	GK	酒谷	0
0	梅野	GK	辻	0
3	西	FP	中山	0
5	陽田	FP	本田	0
2	石井	FP	木戸	0
2	徳渕	FP	八木	4
4	江島	FP	木内	0
0	根間	FP	千歩	3
0	渡部	FP	西出	1
0	宮嶋	FP	坂	0
0	西嶋	FP		
0	嘉本	FP		
		（審・山口 徳前）		
16（3）		PT		（1）8

○…緒戦でビクターと引き分けるなど、ルーマニア遠征の成果を実らせるかにみえた大崎も、そのあとペースが鈍り、ようやくこの一戦で初白星をあげた。

立ちあがりは北国の流れが強く10分すぎまで3—1とリードした大崎は半ばまえ、陽田の連続ゴールで逆転したあと、時間とともに点差を開き、後半10分10—5、勝負を決めた。

北国はシューターが千歩、八木に固まりすぎ、守る側を楽にさせていた。

◇**第6週**

▽11月15日・栃木

ブラザー工業 16（6—5 10—4）9 大崎電気

○…優勝を意識しはじめたのかブラザーの動きは固く、先行しながらも大崎に食いつかれ、後半5分まで8—7と苦しんだ。

10分すぎから本来のスピードプレーがまとまりはじめ、植田、山村らの巧者がたてつづけに大崎ゴールを襲い、20分15—8と大差をつけた。

得	【ブ工】		【大崎】	得
0	屋比久	GK	梅野	0
0	中村	GK	藤村	0
2	杏原	FP	西	5
4	竹内	FP	陽田	1
0	則武	FP	江島	0
1	増永	FP	徳渕	2
4	植田	FP	渡部	1
5	山村	FP	石井	0
0	塩谷	FP	根間	0
0	小平	FP	宮嶋	0
0	尾崎	FP	嘉本	0
0	松下	FP	西嶋	0
		（審・山下 高橋）		
16（1）		PT		（2）9

ブラザーは大砲陣の調子が悪いと、テクニシャンがカバーするなど、チーム力に厚味ができてきている。

日立栃木 13（6—6 7—4）10 東京重機

得	【日立】		【重機】	得
0	寺沢	GK	佐久間	0
0	斉藤	GK		
1	毛塚	FP	寺西	2
3	水上	FP	古谷	2
0	手打	FP	川本	4
3	大輪	FP	沖山	0
5	島田	FP	鈴木久	1
1	吉田	FP	宮田	1
0	箕輪	FP	斉藤	0
0	小根沢	FP	鈴木希	0
0	西山	FP	大前	0
0	前田	FP	森田	0
		（審・岡本 清水）		
13（2）		PT		（2）10

○…大歓声を浴びて国体優勝を飾った思い出のコート、そこで日立は、なんとも拙い試合をしてしまった。

やはり、前週の1敗が尾を引いているのだ。

この日まで4敗の重機に、勝負のメドをつけたのは、後半10分10—6とした時である。

それまでは、まったく攻撃が一本調子で、むしろ動きでは重機が上廻る場面もあった。

重機は、前半互角に進ませながら、後半16分間12本のシュートを放ちながら1点もとれなかった決定力の乏しさが痛い。

▽同・四日市

立石電機 18（10—4 8—7）11 日本ビクター

得	【立石】		【日ビ】	得
0	井村	GK	渡辺	0
0	荒木	GK		
1	姫野	FP	加藤	4
4	桑原	FP	池田	1
2	木下	FP	染谷	0
3	紀野	FP	小島	4
1	羽立	FP	岩城	1
6	薮田	FP	伊藤	0
0	近藤	FP	村上	0
0	岩村	FP	志村	1
1	喜久山	FP	中根	0
0	亀園	FP		
		（審・安芸 浅田）		
18（4）		PT		（1）11

○…「この一戦」といっていた立石・井監督の思惑どおりの試合になった。

特に前半にみせたソツのない攻撃は、立石復活を印象づけるに充分だった。

後半に入っても立石のテンポは変わらず、木下のPTに始って着実に加点、10分15—6、勝負が決まった。

ビクターは、結局、穂積が欠けた穴が埋まらぬための苦戦である

優勝は完全にダメになったが、これだけの大チーム、一日も早い復活を望みたい。

ジャスコ 17（7—3 10—7）10 北国銀行

○…ジャスコの完勝だった。

北国は、この試合も攻撃者が片寄りすぎ、攻め口が単調に流れた。

これで立石、ブラザー、ジャスコ、日立は4勝1敗、つばぜり合いは一そうすごくなった。

得	【ジャ】		【北国】	得
0	山本一	GK	酒谷	0
0	矢部	GK	辻	0
2	松下	FP	八木	5
6	辻本	FP	千歩	4
0	林	FP	西出	0
5	横山	FP	本田	1
2	山本二	FP	中山	0
2	若田	FP	木内	0
0	松岡	FP	木戸	0
0	平田	FP	坂	0
0	今里	FP		
0	宮崎	FP		
		（審・吉田 奥村）		
17（7）		PT		（1）10

▽11月16日・坂戸

大崎電気 18（5—4 13—4）8 東京重機

得	【大崎】		【重機】	得
0	藤村	GK	佐久間	0
0	梅野	GK		
1	江島	FP	寺西	1
1	徳渕	FP	鈴木久	1
1	渡部	FP	古谷	0
6	西	FP	沖山	2
4	陽田	FP	川本	3
3	石井	FP	斉藤	1
0	宮嶋	FP	鈴木希	0
1	西嶋	FP	森田	0
1	嘉本	FP	大前	0
0	根間	FP	宮下	0
		（審・千野 三枝）		
18（3）		PT		（2）8

○…得点こそせり合ったが、内容的にはもう一つ。後半になると大崎が一方的に攻めまくって、いっそう味気ない試合となった。

◇**第7週**

▽11月22日・熊本

立石電機 19（11—2 8—2）4 北国銀行

得	【立石】		【北国】	得
0	井村	GK	酒谷	0
0	荒木	GK	辻	0
1	姫野	FP	中山	0
0	桑原	FP	八木	1
4	木下	FP	千歩	2
7	紀野	FP	木内	0
4	薮田	FP	本田	1
3	羽立	FP	西出	0
0	喜久山	FP	木戸	0
0	亀園	FP	坂	0
0	岩村	FP		
0	近藤	FP		
		（審・福田 松尾）		
19（4）		PT		（2）4

○…立石にとって、これほどのお膳立てはない。優勝目前の試合をホームコートで行うのである。

4分羽立のゴールを口火に、5分間2点の好ペースでリードを奪い、八木、千歩のシュート力に頼る北国を置き去りにした。

後半も立石は積極的に攻める。同率となった場合の得失点差勝負を考えればプラス40の重味は大きい。

ジャスコと日立敗れる波乱

▽11月23日・水海道

ブラザー工業 17（5－10、12－6）16 ジャスコ

	【ジャ】	得
GK	山本一	0
	矢部	0
FP	平田	0
	林	1
	松下	4
	辻本	5
	山本二	1
	横山	2
	宮崎	0
	松岡	0
	若田	3
	今里	0

	【ブ工】	得
GK	屋比久	0
	中村	0
FP	山村	2
	植田	4
	則武	3
	竹内	1
	杏原	2
	塩谷	0
	増永	5
	後藤	0
	尾崎	0
	松下	0

（審・斉藤、山下）

17（3）PT（5）16

○…大波乱がおきた。2連勝を狙う本命・ジャスコが敗れた。しかも後半5分13－6の絶対有利を引っくり返されたのだ。

誰がみても不利の戦況から、ブラザーは塩永が、則武の1点をはさんで連続4点を奪う大活躍を示し、10分11－13とし、ここでジャスコに2点を加えられ11－15と突き放されながら、今度は植田、山村が、あっという間に4点をかせぎ、23分ついに15－15としたのである。

思いもかけぬ反撃をうけたジャスコはPTの失敗などあって12分以降ノーゴール、24分ブラザー則武に逆転（16－15）を許し、ようやく目がさめたように林が決めて16－16としたのだが、ブラザーの勢いは止まらず、残り20秒杏原が劇的な勝ちこしシュートを決め、ジャスコは、ぼう然と立ちつくしたまま、2連覇の夢を捨てた。

日本ビクター 12（4－4、8－5）9 日立栃木

	【日立】	得
GK	寺沢	0
	斉藤	0
FP	吉田	2
	島田	0
	大輪	1
	箕輪	1
	小根沢	0
	水上	2
	毛塚	1
	西山	0
	手打	1
	前田	1

	【日ビ】	得
GK	渡辺	0
FP	池田	5
	伊藤	2
	岩城	0
	染谷	0
	小島	0
	加藤	2
	村上	0
	志村	3
	中根	0

（審・佐分、大塚）

12（4）PT（2）9

○…第1試合の波乱の余いんは日立に悪く作用した。前半こそ互角に進んだが、島田を負傷で欠いては迫力に乏しく、完全に、国体時の好リズムを忘れてしまった。

ビクターもけして好調ではなかったが「同一チームに連敗はしたくない」（池田監督）という闘志が、後半10分5－5から実を結び池田自から5点を叩き出したほか志村の健闘で20分10－7とし、日立を抑えつけた。

この日の二戦で、優勝争いは立石、ブラザーにしぼられた。残る1戦を互いに取るとして、ブラザーを破っている立石が、優勝を八分どおり決めた形勢である。

◇第8週

▽11月29日・東京

北国銀行 9（5－3、4－3）6 東京重機

	【重機】	得
GK	佐久間	0
FP	寺西	0
	鈴木久	1
	斉藤	0
	沖山	0
	川本	4
	古谷	1
	鈴木希	0
	大前	0
	宮田	0
	森田	0

	【北国】	得
GK	酒谷	0
	辻	0
FP	千歩	4
	八木	2
	木内	1
	中山	1
	本田	0
	木戸	1
	西出	0
	坂	0

（審・栗城、内田）

9（2）PT（1）6

○…なんとしても1勝をあげたい両者の気力は火花が散ったが、北国は前半終了直前のPTを活かしたのが大きく、後半余裕を示しながら10分8－4、勝利を動かないものとした。

ジャスコ 18（8－9、10－7）16 日本ビクター

	【日ビ】	得
GK	渡辺	0
FP	加藤	6
	小島	4
	染谷	0
	岩城	1
	伊藤	0
	村上	0
	志村	3
	中根	0
	池田	2

	【ジャ】	得
GK	山本一	0
	矢部	0
FP	平田	0
	松下	8
	林	0
	山本二	1
	横山	0
	宮崎	0
	若田	1
	松岡	0
	辻本	8
	今里	0

（審・斉藤、千野）

18（3）PT（2）16

○…スローオフ前、立石優勝（呉会場）が伝わっていたのだろうか、両チームとも張りのないスタートだったが、時間とともにトップチームらしい攻防を応しゅう。見応えがあった。

ビクターは前半残り20秒1点リードを奪い、この点差を後半5分まで持ちこんでいたが、ジャスコは6分すぎ2本のPTを辻本が決めて逆転、11分からは松下が一人舞台ともいう活躍を示し16分16－11と主導権を握った。

ビクターは20分すぎ、再び好テンポとなり、松下に負けじと加藤が奮戦、24分16－17まで迫ったがジャスコは残り20秒辻本がダメを押し、最終戦を飾った。

▽同・呉

立石電機 17（9－4、8－5）9 大崎電気

	【大崎】	得
GK	梅野	0
	藤村	0
FP	西	5
	渡部	0
	陽田	1
	石井	1
	徳渕	0
	江島	2
	西嶋	0
	嘉本	0
	宮本	0
	根間	0

	【立石】	得
GK	井村	0
	荒木	0
FP	姫野	2
	桑原	8
	木下	1
	紀野	1
	藪田	3
	羽立	1
	喜久山	0
	是枝	1
	岩村	0
	近藤	0

（審・片山、横瀬）

17（0）PT（2）9

○…立石の快勝だった。1分桑原のゴールで好スタートした立石は3分姫野、10分桑原で3－0、11分江島に1点を返されたが、再び桑原の活躍と藪田、木下らの追い討ちで点差を拡げ、後半開始5分間の3点連取（12－4）で、早々と優勝を決めた。

名門大洋デパートの伝統を受けつぎ、第1回日本リーグに優勝、その後も、国内最強グループとして名を連ねながら勝運に恵れなかった立石だが、栃木国体2位の実績からみても、この優勝は当然といえる。

大洋時代と同じような攻めの多彩さ、守りの固さが勝因といえるが、再起を危ぶまれるようなヒザの故障からカムバックした紀野の闘志と、GK井村に代表される若手パワーが、その柱であった。

立石・井蓋監督の話 紀野のカムバックが、チームに芯（しん）を作った。新人の加入で練習量が増えたのも勝因といってよい。久々のビッグタイトル、本当に嬉しい

▽11月30日・名古屋

ブラザー工業 18（7－9、11－3）12 日立栃木

	【日立】	得
GK	寺沢	0
	斉藤	0
FP	吉田	0
	大輪	2
	箕輪	0
	小根沢	0
	水上	3
	毛塚	0
	栗原	0
	西山	0
	手打	3
	前田	4

	【ブ工】	得
GK	屋比久	0
	中村	0
FP	杏原	4
	竹内	3
	則武	0
	塩谷	0
	増永	4
	植田	3
	山村	4
	尾崎	0
	松下	0
	宮本	0

（審・森、川島）

18（2）PT（4）12

○…日立が勝つと2敗が三チーム並ぶという最終戦。

5－5から日立は、前田、手打らでリードを奪ったが、ブラザーは、後半が始まるや10分までに6点を奪い逆転、15分すぎにも5点連取の集中攻撃をみせて快勝、単独2位を、地元で決めた。

大崎電気とムネカタ
日本リーグ2部も終了

第5回日本リーグ2部は、1部と併行して9月21日から11月29日まで各地で行われた。

6チームによる男子は、今年も旧1部の大崎電気（埼玉）と三景（東京）が強く、4勝同士で対決、大崎が前半から優位に立って三景を押し切り2連勝した。

3チーム2回総当りによる女子は、1部経験のあるムネカタ（福島）と大和銀行（大阪）の争いとなり、第1戦は引き分け、第2戦はムネカタが、大和の反撃を振り切って優勝した。

全スコアは次のとおり。

◆男子

大崎電気 25（12―12、13―3）15 自衛隊勝田
三景 32（14―8、18―7）15 日鉄建材
トヨタ車体 27（17―7、10―5）12 セントラル自動車
大崎電気 26（16―4、10―7）11 セントラル自動車
三景 17（12―9、5―4）13 トヨタ車体
自衛隊勝田 30（17―8、13―9）17 日鉄建材
大崎電気 35（16―5、19―10）15 トヨタ車体
三景 19（7―7、12―8）15 自衛隊勝田
日鉄建材 21（11―10、10―9）19 セントラル自動車
トヨタ車体 20（10―10、10―9）19 自衛隊勝田
三景 26（15―7、11―5）12 セントラル自動車
大崎電気 30（12―6、18―5）11 日鉄建材
セントラル自動車 16（7―6、9―7）13 自衛隊勝田
トヨタ車体 19（9―10、10―4）14 日鉄建材
大崎電気 26（15―7、11―8）15 三景

	【三景】	得	【大崎】	得
GK	野田	0	岡部	0
GK	小林	0	原田	0
FP	山村	2	斉藤	7
FP	中馬	2	新田	2
FP	鈴木	5	長野	11
FP	島中	3	佐伯	2
FP	地園（主）	3	松岡	3
FP	加藤	0	東江	1
FP	奥村	0	宮崎	0
FP	高梨	0	小松原	0
FP	工藤	0		

（審・今野、中島）

26（4）PT（1）15

【順位】①大崎電気5戦全勝②三景4勝1敗③トヨタ車体2勝3敗④自衛隊勝田1勝4敗（得失点差マイナス5）⑤セントラル自動車1勝4敗（マイナス43）⑥日鉄建材1勝4敗（マイナス52）

大和、第1戦は引き分け

◆女子

▽1回戦

ムネカタ 20（13―7、7―6）13 和歌山県商工信用組合
大和銀行 20（13―1、7―4）5 和歌山県商工信用組合
大和銀行 16（9―7、7―9）16 ムネカタ
引き分け

▽2回戦

大和銀行 29（14―2、15―5）7 和歌山県商工信用組合
ムネカタ 27（13―0、14―1）1 和歌山県商工信用組合
ムネカタ 16（9―6、7―3）9 大和銀行

②

	【大和】	得	【ムネ】	得
GK	茂利	0	岩瀬	0
GK	春口	0	海村	0
FP	宮本	2	広田	4
FP	若杉	2	岡部	7
FP	千原	3	清水	6
FP	米山	1	石田	2
FP	西田	0	水野	2
FP	鈴木	0	物井	1
FP	中川	0	吉田	0
FP	矢折	0	大河原	0
FP	門	0	米野	0
FP	山下	1	佐藤	1

（審・森、勝山）

16（4）PT（1）9

【順位】①ムネカタ3勝1分②大和銀行2勝1分1敗③和歌山県商工信用組合4敗

最多得点賞は長野と物井

日本リーグは2部リーグの個人表彰選手を次のように発表した。

（男子）▽最多得点選手 長野透（大崎）35▽最高シュート率選手 森岡親男（トヨタ）〇・五五六▽最多ペナルティ得点選手 長野透（大崎）14▽敢闘選手賞 佐伯宏治、松岡（寛以上大崎）、鈴木健文（三景）、額賀洋二（自衛隊勝田）

（女子）▽最多得点選手 物井広美（ムネ）18▽最高シュート率選手 物井広美（ムネ）〇・七五〇▽最多ペナルティ得点選手 若杉直子（大和）7▽敢闘選手賞 西田早苗、千原彰子（以上大和）、石田成子（ムネ）、清水吉美（和歌山）。

1月30日から入れ替え戦

日本リーグは、今年度の男女1部2部入れ替え戦を1月30日から2月1日まで男女各4チームのリーグ戦で行うことを決め発表した。

出場チームは、男子が5位・大阪イーグルス（大阪）、6位・三陽商会（東京）、2部1位・大崎電気（埼玉）、同2位・三景（東京）、女子が7位・東京重機（東京）、8位・北国銀行（石川）、2部1位・ムネカタ（福島）、同2位・大和銀行（大阪）で、30、31日は東京駒沢球技場、2月1日は日立栃木体育館を交渉中。日程次のとおり

▽1月30日（男子）三陽×大崎、イーグルス×三景、（女子）重機×ムネカタ、北国×大和。▽31日（男子）イーグルス×大崎三陽×三景、（女子）北国×ムネカタ、重機×大和。▽2月1日（男子）三景×大崎、イーグルス×三陽、（女子）ムネカタ×大和、重機×北国。

冴えるパスワーク
君の勝利球
MIKASA
ミカサハンドボール
MGH2 ¥4,500(検定球)
MGH3 ¥4,600(検定球)
デザインが感触が新しい!
明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・名古屋・福岡

日本協会の動き

大野金一
（日本協会常務理事）

◇男子世界選手権アジア予選の日本招致

第10回男子世界選手権大会は、昭和五十七年二月二十三日から三月七日まで、西ドイツにおいて開催されますが、その予選の参加国はもちろん、予選の時期などについても、まだ公式の発表はありません。

日本協会は、アジア予選の時期を九月頃と予想し、東京で開催すべく計画しております。

中国のIF加盟により、以前ほど政治的問題はありませんが、従来のようにIFまかせで振回されないように、日本がリーダーシップをとってアジア予選を開催するという意気込みが必要です。

◇クウェート及び欧州遠征

昭和五十六年二月九日から十六日までクウェートで開催される建国十周年記念トーナメント（参加国は日本、中国、スペイン、オーストリー、クウェート）に男子ナショナルチームを派遣し、そのあと欧州を回る計画をもっていますが、訪問国としてスペイン、ポルトガル、ベルギー、スイス、ユーゴに打診することになりました。

◇レフェリーコーチ講習会

全日本総合選手権大会開催中の十二月十五日から二十日まで、東京体育館及び日本青年館において国際ハンドボール連盟競技規則委員のエリク・エリアス氏を講師として招いて、レフェリー及びコーチの講習会を開催します。

昭和五十六年八月から新競技規則が実施されますが、新ルールの解説も含めて実技その他の指導を受けようとするもので、アジアハンドボール連盟からも、アジア各国のレフェリー及びコーチを日本の経済負担で受け入れてほしい旨の申入れがあった程評価された新しい試みです。

本来アジア連盟が行なうべき企画を日本が先取りした格好ですがアジア連盟の申入れを全面的に受入れる財政力は残念ながらありません。（アジア連盟も、その後同旨の企画を十二月十七日からクウェートで行なうからレフェリー、コーチを派遣するよう公文が入ったが、日本は重複するので参加しない意向です。）

—以上十一月常務理事会から—

財団設立許可は
年明けにずれ込むか

昭和五十五年六月に申請をした財団法人の設立許可は、同年十月に文部省の担当官が変ったために説明や追加資料の提出などで予定より大分遅れていますが、大詰に近づいております。

ただ十二月は、各省とも来年度予算要求の関係で多忙を極めるので、許可は新年早々になるかも知れません。

新財団の設立が許可されますと同時に従来の日本ハンドボール協会は消滅し、その資産及び債務は新財団が継承することになります

旧日本協会の代議員の身分は同時に消滅し、新財団が新たに理事会の諮問機関として評議員を選任します。したがって、旧協会の決算は、事実上は新財団の理事会及び評議員会でその当否が審議されることになります。

新財団が昭和五十五年中に許可になれば、以上のような切替わりでよいのですが、許可が新年にずれ込みますと、旧日本協会は年明けても新財団設立許可まで存続することになり、旧代議員の任期は昭和五十五年十二月末日までですので、そのあとわずかの期間でも新代議員を選任しなければなりません。しかし、そのような事態を予想して仮の代議員を選任するわけにもいきませんし、また、このような方法は余りにも形式的ですので、昭和五十五年十二月末日で切れる代議員の任期を、新財団の設立許可が昭和五十六年にずれ込んだ場合にはその許可の日まで延長する特別措置を代議員に書面で諮ることにし、去る十二月十一日に開かれた緊急常務理事会で承認されました。

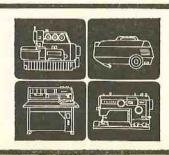
なお、この書面による議決には併せて、これまでに支出した予備費の承認を求めることになりました。

財団法人日本ハンドボール協会が設立されますと、会長を含めて二十名で構成される理事会がすべてを議決し執行していくことになります。評議員会は、重要な事項の諮問機関となります。

設立当初の理事は設立発起人会において選任され、文部大臣の設立許可と同時に就任し、昭和五十七年三月末日までの任期となります。

設立早々、評議員を選任する一方、理事会を開催し、会長、副会長、専務理事及び常務理事を選任しなければなりません。設立発起人会で決定した事業計画の細目も定めなければなりません。（了）

ミシンから…
エレクトロニクスまで

工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

営業本部　東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)

大会ガイド

16日から全日本総合選手権

＜ナショナル・チャンピオンチーム＞の栄光と名誉をかけた第32回全日本総合選手権が、12月16日から20日まで東京体育館に、男子24、女子16チームを集め、トーナメント法式で行われる。

今年の総決算大会にふさわしい激戦が期待されるが、組み合せをみながら、優勝の行方などを追ってみよう(杉山)

主力欠く学生チーム

◆男子　これほど予想を立てにくいケースもあるまい。

この原稿を書いている時点（11月30日）では、有力とみられる学生の代表が、インカレ（12月3～7日・大阪）待ちのため、決まっていないのである。

もっとも、日体(東京)なり、早大(東京)なり、中大(東京)なり、大体大(大阪)なりが出てきても、各校とも主力選手は、世界学生選手権（12月28日からフランス）に出場するため欠ける。

1位校と3位校が上位進出にやや可能性をもつ以外、苦戦はさけられまい。

今年に関しては、学生勢は、一応、圏外と考えてもよさそうである。

そうなると、ベストエイトは大同特殊鋼(愛知)、大阪イーグルス(大阪)、日新製鋼(広島)、本田技研鈴鹿(三重)、三陽商会(東京)、湧永薬品（広島）の日本リーグ勢進出は、まず間違いなく、残る二つ、三景（東京）×全日本学生1位、栃の葉ク(栃木)×と全日本学生3位が興味ということになる。

1位校はベストメンバーなら、じゅうぶん勝機はあるが、主力抜きとなれば、三景の老巧さにブが出てこよう。

栃の葉クは、国体時の気力をつづけて持っているかが問題だ。この一戦は序盤きっての好カード。

さらに4強へと的をしぼると、大同、本田、湧永の勝ちあがりは不動としてよかろう。

注目はイーグルス×日新。チームの勢いからすれば日新を買う人が多いが、大阪の〝一発〟の強さはこれまでにも、何回も証明されている。

日新としては、ナンバースリーの座を自分のものとするためにはこの一戦を落とすわけにはいかない。イーグルスも、日本リーグを不本意（5位）に終っているだけに、かなりもつれた試合となりそうである。

注目の中村荷役運輸

ところで、常連化しつつある強豪・上位群に一矢を報いる期待をかけられるチームはないだろうか

湯沢ク(秋田)、蒲郡ク(愛知)、全宮崎(宮崎)ら社会人代表の闘志は侮れないが、湯沢クが三景にどうかという程度で、どこも2勝は難しいクジ運。

トヨタ車体(愛知)、日鉄建材（大阪)、自衛隊勝田(茨城)の日本リーグ2部勢も、もうそろそろ一つの壁を破っていい頃だが、やはり総合力で、一歩の遅れを否めない。

トヨタが、学生3位、栃の葉クを連破するような新風を吹きこんでくれると嬉しいのだが。

教員界の代表はイーグルス、栃の葉が頭抜けた存在で千葉、滋賀は緒戦突破が一応の目標、大きな進出は望めない。

こうみてくると、波乱の期待はカムバックに意欲を燃やす大崎電気(埼玉)と初登場の中村荷役運輸(東京）にしぼられる。

大崎は手駒に不安はあるものの斉藤、長野、GK岡部と中心線がしっかりしている。

中村は、元全日本の飯田がプレーイングコーチをつとめる今春発足したてのチーム。主力の西窪、坂口、GK小松らキャリアがある。

デビュー戦としては、もってこいの組み合せで、あるいはの期待もかかる。

5年連続大同×湧永の決勝か

さて準決勝。大同×日新、本田×湧永となれば、前回とまったく同じ。日新、本田が日本リーグでの敗戦に奮起した分を考えても、大同、湧永の有利は動かない。

5年連続の大同×湧永による決勝必至だ。

もちろん、日新、本田の勝算がゼロであるハズはない。

2強にも死角はあるのだが、日新、本田が100％のデキを示して、初めてそこを突ける、といってよいほど今年の大同、湧永は安定していると思う。

日新、本田の捨て身の攻守、特に前半でのスパートこそ、勝機を呼ぶ最善の戦略ではないか。

決勝リーグ制時代を含めれば6年もつづけて、同じチームが1、2位を占めているのは感心できない。日新、本田の大暴れを望んでいる全国愛好者は多いことを特に書き加えておこう。

大同×湧永は、今シーズン2勝1分で大同リード。

大同は実業団（9月)、国体（10月)、日本リーグ(11月）と勝って＜四冠王＞に王手である。

昨年も同じケースだったが、湧永が意地をみせて、この大会を握った。

大同が今年こそと燃えれば、湧永も日本リーグ引き分けの悔いが日ごとに強まり、早く〝再戦〟をと腕を撫す。

過去の試合同よう、今回も緊迫した対決となろうが、互いに手の内を知りつくしている仲、ホンの僅かな乱れが、勝負の明暗を色分けることになろう。湧永の気力に期待をかけたい。

立石先頭に強豪乱立

◆女子　男子が2強独走の色濃いのに対し、女子は強豪乱立、波乱ぶくみである。

今年これまでの3大会の成績をみても、実業団（5月）が①日本ビクター(茨城)②ジャスコ(三重)③日立栃木(栃木)④ブラザー工業（愛知)。

栃木国体(10月)が①日立栃木②立石電機(熊本)③ジャスコ④日本ビクター。

日本リーグ(11月)が①立石電機②ブラザー工業③ジャスコ④日立栃木とめまぐるしいのである。

ベストエイトは順当ならビクター×全日本学生1位校、立石×ブラザー、日立×大崎電気(埼玉)、北国銀行（石川）×ジャスコとなる。

全日本学生1位に代って東京重

機(東京)、北国銀行に代って全日本学生2位校という線もあろうが話をベストフォアに進めた場合、この4チームの力は、薄くなる。

準々決勝で注目されるのは立石×ブラザー戦だ。

日本リーグでは6勝1敗の同率首位、規定(両者の対戦)で立石がタイトルを握ったいきさつがある

しかも、日本リーグでの対戦は14－13と際どい勝負だった。両チームにとって、今回は＜結着戦＞といえる。

あとの3カードはビクター、ジャスコ、日立の勝ちあがりとみていいだろう。

番狂わせがあるとすれば、ルーマニア・ユーゴ遠征で腕をあげた大崎が日立を喰うケースだろう。

大崎は、日本リーグ、国体ともやはり遠征疲れをかくせなかった今大会は、真価を発揮するチャンスだ。

さあ、準決勝から決勝へ進むのは、となると、これは予断を許さない。

大崎を含めた6チームに優勝を狙える実力が備っているからだ。

思い切った予想をすれば立石×ブラザーの勝者対ジャスコの決勝だろうが、駒不足に泣くビクターも、この大会を復活の足がかりとするよう意気ごんでいるし、日立も、リーグ終盤、ヒザを痛めて欠場したエース島田が戻れば万全だ

日本リーグ後半のチーム力からすれば立石、ブラザー、ジャスコの順。

ジャスコを三番手とするのは、強負弱さがのぞくのが気がかりだからである。

準々決勝の立石×ブラザー戦が大きな焦点となるわけだがズバリ立石の4年ぶり2度目の優勝と占っておこう。ブラザーが立石を破っていれば、一気に2年ぶりの目も出てくる。立石、ブラザー両者にとって侮れないのは決勝の相手よりもむしろビクター(準決勝)、不調とはいえ前年の女王である。

優勝争いは、こうして日本リーグ勢がしのぎを削ることは確定的だが他のチームの評判はどうか。

学生界の代表は、順位は別として日体、東女体大(ともに東京)筑波大(茨城)、武庫川女大(兵庫)が出てくるのは、間違いないだろう。このうち、実業団相手に粘りつきそうなのは日体と筑波だ。

どのスポットに入るか分からぬが、3、4位校以外はリーグ勢打倒を果たせる公算もある。

1位校が東京重機を食い、ビクターに善戦するようだと、学生界見なおし論が本格化できる。

そのほかでは、日本リーグ復帰を目指すムネカタ(福島)、大和銀行(大阪)がやはりよさそう。

ムネカタは、大崎戦をモノにし日立に食下らねば1部復帰は難しい、とばかりに意気ごんでいる。

唯一のクラブ・彦根BSク(滋賀)は、来年の地元国体に備えて強化を進めているが、いかになんでもブラザー相手は荷が重い。

ところで、来年は早くも世界選手権アジア予選。

このところ、韓国に連敗している日本女子にとって、なんとしても勝たねばならぬ年だ。

状況は、中国の参加で、いっそう厳しいものとなっているが、ここでの敗退は、もはや回復不可能な立ち場に追いやられる懸念さえある。

強豪乱立の本大会が、トップ層充実にイコールならば頼母しいが決め手をかくひ弱な争いであっては、さきゆき不安をつのらせる。

全日本タイトル争いは、もちろん大きな目標であろうが、各チームが、来年に迫った大課題を認識しあって、充実した内容の展開を心がけるよう切望したい。

なお、大会のテレビ中継は、最終日の12月20日午後4時からNHK教育テレビ。全日本男子監督・竹野奉昭氏が解説を担当する。

全日本総合選手権組合せ

◇……男　子……◇

大同特殊鋼(愛知・JHL)
全宮崎(宮崎・社会人西)
千葉教員(千葉・教職員連)
三景(東京・JHL)
湯沢ク(秋田・社会人東)
全日本学生選手権1位校
大阪イーグルス(大阪・JHL)
日鉄建材(大阪・実連)
未定(東京・開催地)
全日本学生選手権2位校
中村荷役運輸(東京・実連)
日新製鋼(広島・JHL)
本田技研鈴鹿(三重・JHL)
全日本学生選手権第5代表校
大崎電気(埼玉・JHL)
滋賀教員(滋賀・教職員連)
全日本学生選手権4位校
三陽商会(東京・JHL)
栃の葉ク(栃木・教職員連)
全日本学生選手権3位校
トヨタ車体(愛知・実連)
自衛隊勝田(茨城・自衛隊連)
蒲郡ク(愛知・社会人中)
湧永薬品(広島・JHL)

◇……女　子……◇

日本ビクター(茨城・JHL)
未定(東京・開催地)
全日本学生選手権1位校
東京重機(東京・JHL)
立石電機(熊本・JHL)
全日本学生選手権4位校
彦根BSク(滋賀・社会人)
ブラザー工業(愛知・JHL)
日立栃木(栃木・JHL)
全日本学生選手権3位校
ムネカタ(福島・実連)
大崎電気(埼玉・JHL)
北国銀行(石川・JHL)
全日本学生選手権2位校
大和銀行(大阪・実連)
ジャスコ(三重・JHL)

全日本総合社会人代表地区予選

◆東地区（11月16日・坂戸）

湯沢ク(東北・秋田) 53（25－12、28－1）13 ポイントジャック(札幌・北海道)

湯沢ク 26（10－12、16－8）20 46G会(関東・埼玉)

この結果、湯沢クが代表に決定

◆中地区（11月24日・大阪）

蒲郡ク(東海・愛知) 23（12－9、11－9）18 生駒ク(近畿・奈良)

蒲郡ク 27（13－9、14－11）20 金沢あすなろク(北信越・石川)

この結果、蒲郡クが代表に決定

金沢あすなろク 28（14－10、14－13）23 生駒ク

◆西地区（11月16日・下関）

宮崎ク(九州・宮崎) 42（19－8、23－12）20 山口県教員ク(中国・山口)

この結果、宮崎クが代表に決定

滋賀教員ら出場　全日本教職員連は全日本総合選手権に推せんしたスワロー兵庫が出場辞退したため、代りに滋賀教員を推せん。

また、全日本実連は、本誌既報のとおり、トヨタ車体(愛知)、中村荷役運輸(東京)の繰り上げ推せんを決めたほか、和歌山県商工信用組合(和歌山)の棄権による女子一チームの枠を返上した。この代替チームは、全日本学連から出される。

1500・3ドアCE

'80年代、再びシビックから始まります。 7年の歳月を刻み、世界89ヵ国200万台*の実績をたずさえて、シビックはいま飛躍的な変貌をとげました。'80年代に世界が求める車とは何か。「実質」と「感性」の両面から、これを徹底して追求した結果、あのシビックを遙かに凌いだ見事に高質の車が誕生したのです。■リッター18km(1500CE 型式E-SR 10モード走行・運輸省審査値)28km(1500CE 型式E-SR、CF(5速車) E-ST 60km/h・定地走行テスト値)の低燃費。■経済性を高めながら、スポーツカーを想わせる強烈な動力性能。■スリムなボディに驚くほど広い室内。■高級車なみの静けさと高いクォリティ。■しかもこれらを従来同様の低価格で実現したこと。先進の思想をしっかりと受け継ぎながら、再び時代を画する素晴らしい車に生まれ変わったのです。車づくりに新しい流れ(トレンド)をつくるニュートレンドカー、スーパー・シビック。いま世界の街へ。

*昭和54年8月現在 総生産台数(自工会調べ)

先んじる思想。ニュートレンドカー
CIVIC

ムリな運転はやめてガソリンを大切に。
シートベルトを締めましょう。
HONDA®

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593:78-1212〈代表〉

プレス・ルーム ＜29＞

小山　敏　昭
──（共同通信社運動部）──

■「両立」してこそ一流選手

"二兎追うものは一兎も得ず"この格言はいったい誰が作ったのだろうか。実は私はこの格言が嫌いだ。"二兎でも三兎でも追いかけ、二兎でも三兎でも取ってこい"―というのが私の"格言"である。

ここで格言の論議をしても始まらないが、ちょっと気になることがあったので勝手に書かせていただきたい。

アマチュアスポーツをやる人にとっては学生のうちはスポーツにも十分に打ち込める。ところが社会に出て、会社等へ勤めるとなかなかスポーツと両立することが難しくなる。理解のある会社は何年間かはスポーツに打ち込むことを認めているところもあるが、ある時期がくると社業に戻るよう上司から勧告がくる。

日本の今のスポーツ界のトップ・レベルを形成するのは社会人だ かつては大学勢が強かった時代もあったが、いま大学勢が社会人を上回る競技団体は少ない。

だがそのトップレベルを支える社会人が実はスポーツと社業の"二足のわらじ"をはいているのである。

社会に出た人は、まず社会人であることを要求される。会社勤めの人は会社のために働くことを求められ、自営の人もまず自分が生計を立てることが大事となる。妻子を養い、自分が生きていくためにはお金が必要となる。これは当然のことだ。しかもある程度の年齢となると社会的な地位も必要となる。

そうなると体力的な衰えや年齢的なことを理由にあっさりとスポーツを断念し、スポーツ界から"引退"していく。これがいまの日本のアマチュアスポーツ界の現状である。

これまでにも数多くのトップクラスの選手や監督、コーチたちが会社の仕事のために、第一線を退いていった。

しかしこれでいいのだろうか。私はよくないと思う。なぜ社業もスポーツもできないのか。『会社に迷惑をかける』『会社の待遇が気になる』『同期入社の同僚がえらくなった』とかいろいろな理由がスポーツから"引退"する人にはあろう。だけど人間ってもっともっと大きな可能性を持っているものではないだろうか。一流のスポーツマンであり、一流の会社人であり、そしてまた一流の家庭人であることは可能ではないか。

アマチュアには引退はない―といわれるが、まさにその通りだと思う。会社の仕事も、スポーツもそしてその他人間として必要なこともみんなやれるはずだ。

がんばれスポーツマンである。

■問題はタイトルより中身

最近の日本のスポーツ界は有名な外国チームや選手の参加するビッグイベントが相次いでいる。

陸上ではモスクワ・オリンピックの金メダリストたちがたくさん出場した八カ国陸上、庭球ではボルグ（スウェーデン）やコナーズ（米国）が参加したセイコー・ワールド・スーパー大会、ナブラチロワ（米国）やコーリー（豪州）が"競演"したライオン・レディス・カップ、サッカーでは"スーパースター"クライフを擁するワシントン・ディプロマッツの来日 ゴルフでもニクラウス（米国）やワトソン（米国）ら世界の超一流が参加した大会などそれぞれの競技で世界のトップ・プレーヤーたちが、華麗で鮮かなプレーを披露し、日本のファンを魅了していった。

そして一九八一年もスキーのワールドカップをはじめ、ポーランド代表チームが来日するサッカー ソ連、中国、キューバなどが覇を競うバレーボールのワールドカップなどゴージャスなイベントが目白押しである。

日本のファンにとってはまさにいながらにして"本場"の欧米のプレーを目にすることができて、こんなにうれしいことはない。

ところでこうしたすばらしいチームや選手が来日する裏には日本の大スポンサーがついていることは関係者ならずとも周知の事実である。『〇〇〇陸上』『△△△△サッカー』『〇〇テニス』など大会名に商品名がタイトルとなっているものもある。

私たち報道関係者にとって始めのうちはその大会の呼称にスポンサー名を入れるか否かが大変問題となり、積極的には使わない方向が暗黙のうちにあった。

ところがだんだんイベントの数が増えて差別できなくなったことや、大会名に慣れてしまったことから、あまり大会のタイトルにはこだわらなくなってきた。こだわらないというより、むしろ最近では企業名を入れないと逆に広告代理店からクレームをつけられるところまできている新聞社もある。

現在ハンドボールではこうした『〇〇ハンドボール』といったスポンサーの名のついたものはない しかし近い将来どこかがスポンサーとなる大会ができるに違いない

だがひと言いいたいのはその大会の中身なのである。最近ある競技で『いいスポンサーがいるからいいチームが呼べるんですよ』とある広告代理店の人から言われた 私は開いた口がふさがらなかった 主催するはずの日本協会はどこへいってしまったのか―。いまこんな情けない状態になっている協会や連盟が体協の中にたくさんある

◇各地学生秋季リーグ戦 ②

大阪体大、同志社ら制し6連覇

女子は武庫川女が12度目、連勝記録64に

関西学生秋季リーグ戦は9月21日から11月2日まで大阪府大、京大体育館などに男子1～4部各7校、同5部8校、女子1～2部各7校、新発足の3部3校が参加して激戦をくりひろげた。

注目の男子1部は、常勝・大阪体大が、今シーズンもバランスのとれた攻守で勝ち進み、4勝同士で迎えた同志社戦も前半で勝負を決めた。

この勝利で優勝は、ほぼ確定し、同志社が近大戦をとって5勝1敗でチャンスを待ったが、大阪体大は最終日の大阪経大戦で苦戦しながらも勝利をおさめ、6シーズン連続16度目の優勝を無敗で飾った。

2位には同志社が47年春以来17シーズンぶりで就き、前季2位の大阪経大は4位に落ちた。

16シーズンぶりに1部へ返り咲いた関学は2勝をマーク、5位となった。

2部は大阪府立大が6戦全勝で7度目、3部は京都教大が3度目、4部は桃山学院が、5部は関西外語大が、それぞれ初の首位を得ている。

一方、女子は、快進撃をつづける武庫川女大の勢いを、今シーズンも、どこも食い止めることができず期待の大阪体大も12―6で一蹴され、武庫川女大の11シーズン連続優勝（通算12度目）となった。

武庫川女大の関西学生リーグ内連勝記録は、50年秋以来「64試合」に伸びた。

2部は関学が初、3部は関西外語大が最初の優勝校となった。

▽男子1部

大阪経大 28（18―8、10―9）17 京都産大
関大 33（16―13、17―15）28 近大
同志社 32（18―10、14―9）19 京都産大
関大 19（12―9、7―9）18 大阪経大
大阪体大 40（21―8、19―7）15 関学
同志社 33（16―11、17―13）24 関大
京都産大 26（15―8、11―16）24 関学
大阪体大 34（22―6、12―5）11 近大
同志社 21（12―7、9―11）18 関学
大阪経大 18（11―8、7―7）15 近大
関大 21（12―8、9―10）18 京都産大
近大 27（12―15、15―12）27 京都産大 引き分け
大阪経大 32（16―13、16―3）16 関学
大阪体大 36（21―5、15―5）10 関大
関学 24（11―14、13―8）22 近大
同志社 29（13―12、16―13）25 大阪経大
大阪体大 36（17―13、19―15）28 京都産大
大阪体大 31（18―11、13―7）18 同志社
関学 20（9―10、11―9）19 関大
同志社 31（18―8、13―17）25 近大
大阪体大 18（9―6、9―9）15 大阪経大

得	【体大】		【同志】	得
0	矢永	GK	堀内	0
0	近藤	GK	渡井	0
4	安田	FP	栗屋	6
4	砂川	FP	樫野	0
1	亀片	FP	古川	3
9	玉村	FP	石橋	0
6	土山	FP	神之田	1
1	竹内	FP	蟹江	3
0	金子	FP	高砂	2
0	植	FP	森重	0
3	山本	FP	山田	0
3	菅沼	FP	宮下	3
31	（1）	PT	（2）	18

（審・松尾、村尾）

【順位】①大阪体大6戦全勝②同志社5勝1敗③関大・大阪経大3勝3敗⑤関学2勝4敗⑥京都産大1勝1分4敗⑦近大1分5敗

▽男子2部

阪大 21―15 大市大
天理大 16―13 京大
阪大 27―16 立命館大
神大 25―16 大市大
神大 23―17 天理大
大市大 20―13 立命館大
大府大 16―15 京大
京大 22―19 神大
阪大 18―16 天理大
大府大 20―10 立命館大
大府大 23―11 大市大
立命館大 18―18 京大
神大 20―18 阪大
大府大 23―22 神大
京大 24―21 大市大
神大 26―20 立命館大
大府大 27―20 天理大
天理大 28―18 大市大
大府大 26―20 阪大
天理大 25―10 立命館大
京大 22―20 阪大

【順位】①大阪府立大6戦全勝②神戸大4勝2敗③京都大3勝1分2敗④大阪大・天理3勝3敗⑥大阪市立大1勝5敗⑦立命館大1分5敗

▽男子3部

和歌山大 24―13 甲南大
追手門大 26―22 甲南大
大教大 17―11 奈教大
大教大 21―17 追手門大
京教大 23―12 大教大
京教大 26―12 大院大
大院大 18―16 大教大
京教大 28―18 和歌山大
和歌山大 21―16 大教大
奈教大 22―17 和歌山大
追手門大 17―16 奈教大
京教大 24―14 甲南大
奈教大 21―12 大院大
甲南大 29―16 大教大
京教大 19―16 奈教大
甲南大 22―20 大院大
追手門大 22―20 和歌山大
奈教大 21―18 甲南大
京教大 23―21 追手門大
和歌山大 12―11 大院大
大院大 21―18 追手門大

【順位】①京都教育大6戦全勝②追手門学院3勝3敗③奈良教育大3勝3敗④和歌山大3勝3敗（対戦者間の勝敗による）⑤甲南大2勝4敗⑥大阪学院2勝4敗⑦大阪教育大2勝4敗（対戦者間の勝敗による）

▽男子4部

滋賀大 30―10 京外大

滋賀大 19－10 大薬大
大工大 29－17 京外大
龍谷大 12－0 京外大
大工大 23－18 京府大
龍谷大 18－12 京府大
龍谷大 19－13 大工大
桃山学院 22－21 大薬大
桃山学院 24－15 龍谷大
桃山学院 39－16 京外大
滋賀大 15－12 龍谷大
大工大 29－13 大薬大
大薬大 27－9 京外大
桃山学院 23－14 滋賀大
桃山学院 29－21 大工大
滋賀大 24－12 京府大
桃山学院 29－18 京府大
大薬大 21－20 京府大
滋賀大 24－17 大工大
大薬大 28－15 龍谷大
京府大 29－17 京外大

【順位】①桃山学院6戦全勝②滋賀大5勝1敗③大阪工業大・大阪薬科大・龍谷3勝3敗⑥京都府立大1勝5敗⑦京都外大6敗

▽男子5部
関外大 26－10 奈良大
姫工大 21－7 八代大
大歯大 32－21 奈良大
大歯大 26－19 大外大
神船大 18－18 京工大
大外大 23－16 奈良大
八代大 15－13 神船大
京工大 22－16 姫工大
関外大 23－17 大外大
京工大 14－12 八代大
姫工大 25－13 神船大
関外大 28－23 大歯大
奈良大 25－21 神船大
大外大 21－11 八代大
姫工大 29－25 大歯大
関外大 31－20 京工大

【順位】①関西外大②京都工芸繊維大③姫路工業大④大阪歯科大⑤大阪外大⑥八代学院大⑦奈良大⑧神戸商船大

大阪体大、11シーズン連続2位

▽女子1部
大阪教大 16（8－7、8－3）10 和歌山大
成蹊女短 28（12－5、16－1）6 奈良教大
武庫川女 20（11－2、9－1）3 京都教大
大阪体大 16（9－2、7－4）6 大阪教大
武庫川女 41（21－1、20－0）1 奈良教大
京都教大 22（9－2、13－1）3 奈良教大
京都教大 15（5－3、10－0）3 和歌山大
武庫川女 18（9－0、9－3）3 大阪教大
大阪体大 18（8－4、10－1）5 成蹊女短
武庫川女 34（24－1、10－5）6 和歌山大
京都教大 16（8－5、8－1）6 成蹊女短
大阪体大 19（11－5、8－1）6 和歌山大
成蹊女短 16（6－4、10－5）9 和歌山大
武庫川女 22（11－7、11－3）10 成蹊女短
大阪教大 21（13－3、9－3）6 奈良教大
大阪体大 10（8－2、2－3）5 京都教大
京都教大 8（4－3、4－4）7 大阪教大
大阪体大 32（17－3、15－3）6 奈良教大
大阪教大 15（7－5、8－3）8 成蹊女短
和歌山大 14（8－4、6－6）10 京都教大
武庫川女 12（7－4、5－2）6 大阪体大

得	【武庫】		【体大】	得
0	宮崎	GK	竹山	0
0	畑添	GK	土田	0
1	沢村	FP	横井	0
4	清水	FP	飯島	2
5	富田	FP	伊勢	2
0	西川	FP	市原	1
1	長谷川	FP	辰巳	1
0	玉置	FP	中里	0
0	川合	FP	筒井	0
0	守行	FP	小川	0
0	倉光	FP	塚田	0
1	神並	FP	望月	0
12	（4）	PT	（1）	6

（審・吉田敏 吉田博）

【順位】①武庫川女6戦全勝②大阪体大5勝1敗③京都教大4勝2敗④大阪教大3勝3敗⑤大阪成蹊女短大2勝4敗⑥和歌山大1勝5敗⑦奈良教大6敗

▽女子二部
関学 15－5 大阪薬大
京都女大 7－6 滋賀大
奈良女大 11－6 神戸大
関学 14－11 滋賀大
京都女大 7－4 関西大
京都女大 7－5 奈良女大
関学 13－5 関西大
奈良女大 8－6 大薬大
京都女大 9－3 神戸大
京都女大 12－6 大薬大
滋賀大 11－10 関西大
神戸大 8－3 大薬大
神戸大 12－8 滋賀大
奈女大 14－6 関西大
関学 7－4 京都女大
関学 11－4 神戸大
滋賀大 13－8 奈良女大
滋賀大 11－7 大薬大
関学 14－9 奈良女大
関西大 11－5 神戸大
関西大 13－4 大薬大

【順位】①関西学院6戦全勝②京都女子大4勝1分1敗③奈良女子大3勝1分2敗④滋賀大3勝3敗⑤関西大2勝4敗⑥神戸大2勝4敗（対戦者間の勝敗による）⑦大阪薬科大6敗

▽女子3部
園田学園 2－1 京府大
関外大 16－4 園田学園
関外大 22－12 京府大

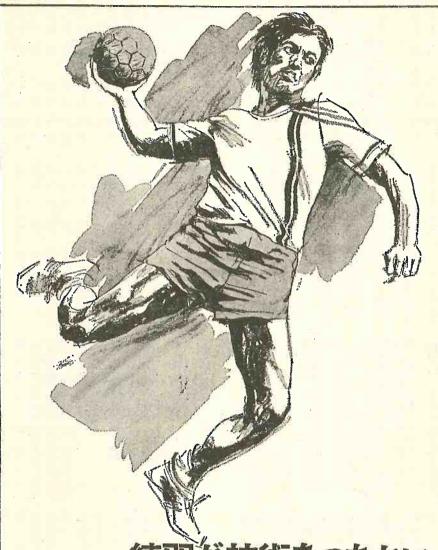
【順位】①関西外大2勝②園田学園1勝1敗③京都府立大2敗

金沢大勝つ

▼第7回北信越学生選手権（11月）
金沢大 20（9－8、11－7）15 金沢工大

大同特殊鋼

取締役社長 武田喜三

本社：名古屋市中区錦一丁目11－18（興銀ビル）
TEL.名古屋(052)201-5111(大代表)〒460
支社：東京 支店：大阪

練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社

名城が10度目の優勝
女子は中京6シーズンぶり

10月4日から始った東海学生秋季リーグ戦は、中京の2部落ち（注・春季は棄権）から、名城の独走となった。名城は2シーズン連続10度目の制覇。

名城は、4年生の玉井、中村を中心とし、力をつけてきた2年生の林、立木らのパワーフルなシュートなど厚味のあるチーム力で各試合を勝ち抜いた。また、目立たぬ存在だが、3年生・纐纈の確実なプレーも見逃せぬものがあった

2位には1部初昇格の中部工大が進出した。

なお、中京は2部で優勝を遂げ来春からの1部復帰を決めた。3部は南山が優勝。

一方、女子は8校によるロングランとなり、中京が若手の鈴木、山本、長越ら長身を活かしたシュートが威力を発揮、優勝をかけた中京女大戦は残り5分7―8の劣勢から逆転勝ちをおさめた。中京の優勝は6シーズンぶり20度目。

春の優勝校・愛知教大は4年生が抜けたため戦力ダウン、連勝を狙うには力不足だった。

▽男子1部

中部工大 37（20―6、17―8）14 岐阜大
名古屋学院 30（13―6、17―9）15 三重大
岐阜大 25（14―8、11―8）16 愛知学院
名城 46（21―11、25―9）20 三重大
名城 22（11―6、11―8）14 中部工大

得	【名城】		【中工】	得
0	箕輪	GK	新垣	0
0	菊地	GK	内山	0
6	玉井	FP	村瀬	0
2	中村	FP	屋富祖	0
3	纐纈	FP	荷川取	0
0	長谷	FP	竹中	0
3	立木	FP	宇栄原	2
3	古橋	FP	高市	3
5	林	FP	宮城	3
0	平井	FP	荷川取	5
0	竹田	FP	川満	1
0	藤沢	FP	福井	0

22（3）PT（2）14

愛知学院 26（14―5、12―10）15 三重大
中部工大 11（4―8、7―2）10 名古屋学院
名城 31（18―2、13―9）11 岐阜大
中部工大 43（19―8、24―9）17 三重大
名城 31（14―8、17―5）13 愛知学院
岐阜大 33（14―10、9―9）19 三重大
名古屋学院 17（4―7、13―6）13 岐阜大
中部工大 28（10―11、18―5）16 愛知学院
愛知学院 19（8―8、11―10）18 名古屋学院
名城 26（13―6、13―6）12 名古屋学院

【順位】①名城6戦全勝②中部工大3勝1敗③名古屋学院・岐阜大・愛知学院2勝3敗⑨三重大4敗

▽同2部

中京 30―10 愛大豊橋
愛知教大 17―13 滋賀大
愛大豊橋 23―17 滋賀大
中京 30―14 愛知教大
愛大豊橋 11―10 名大
愛知教大 9―8 名大
中京 26―6 滋賀大
愛大豊橋 11―9 名工大
愛知教大 16―14 愛大豊橋
中京 29―8 名工大
愛知教大 14―13 名工大
名大 19―12 滋賀大
名工大 15―14 滋賀大
名工大 18―12 名大
中京 35―7 三重大

【順位】①中京5戦全勝②愛知教大4勝1敗③愛知大豊橋3勝2敗④名古屋工大2勝3敗⑤名大1勝4敗⑨滋賀大5敗

▽同3部

東海 18―14 静岡大
南山 23―12 東海
静岡大 21―13 日本福祉大
南山 24―8 日本福祉大
東海 22―10 日本福祉大
南山 16―15 静岡大

【順位】①南山3戦全勝②東海2勝1敗③静岡大1勝2敗④日本福祉大3敗

愛知教大の連勝成らず

▽女子

中京女 30（15―0、15―1）1 愛知学院
愛知教大 19（10―3、9―5）8 日本福祉大
中京 23（11―1、12―0）1 岐阜大
三重大 13（7―1、6―4）5 南山
岐阜大 8（3―2、5―3）5 愛知学院
中京女 27（14―2、13―4）6 日本福祉大
愛知教大 18（10―0、8―5）5 南山
中京 20（10―0、10―0）0 三重大
中京女 28（18―1、10―0）1 南山
三重大 12（10―3、2―2）5 日本福祉大
愛知教大 16（5―3、11―3）6 岐阜大
日本福祉大 9（6―1、3―2）3 南山
中京 14（10―0、4―3）3 愛知教大
愛知学院 7（3―1、4―2）3 日本福祉大
岐阜大 12（5―3、7―1）4 南山
中京 9（4―3、5―5）9 中京女
岐阜大 10（3―3、7―5）8 三重大
中京女 16（12―2、4―6）8 岐阜大
愛知学院 13（6―1、7―4）5 南山
愛知教大 8（3―3、5―0）3 愛知学院
中京女 25（13―2、12―1）3 三重大
中京 26（13―2、13―1）3 南山
三重大 11（7―2、4―5）7 愛知学院
中京 21（12―0、9―4）4 愛知学院
愛知教大 13（9―3、4―2）5 三重大
岐阜大 7（4―5、3―1）6 日本福祉大
中京 28（14―1、14―5）6 日本福祉大
中京女 9（4―1、5―2）3 愛知教大

得	【中京】		【中女】	得
0	矢木	GK	松下	0
0	森岡	GK	小間	0
0	浅井	FP	盛里	1
0	渡辺	FP	木野村	1
0	永井	FP	四堂	0
0	村田	FP	沖	4
1	稲垣	FP	山田	1
1	田口	FP	伊藤	0
1	鈴木	FP	藤崎	0
2	山本	FP	森	0
4	峪越	FP	堀井	0
0	富田	FP	大久保	1

9（3）PT（0）8

【順位】①中京女7戦全勝②中京6勝1敗③愛知教大5勝2敗④岐阜大4勝3敗⑤三重大3勝4敗⑥愛知学院2勝5敗⑦日本福祉大1勝6敗⑧南山7敗

中京1部復帰 ▼東海学生（男子）秋季リーグ1・2部入れ替え戦

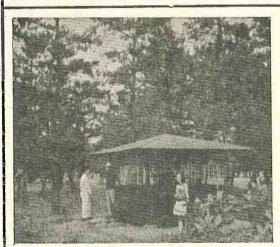
愛知学院（1部）15（7―6、8―8）14 愛知教大（2部）
中京（2部）41（20―4、21―6）10 三重大（1部）

"まごころのおつきあい"が
私たちのモットーです

あなたの銀行

北國銀行

●本店　石川県金沢市下堤町　●店舗　石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ

東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイスショットも、命がけで逃げなければなりません。
そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あなたのゴルフ場は完璧です。
落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋→大崎のＦＹケージを適所に設置して中に入れば、雷災から完全に保護されます。

大崎電氣工業株式會社
本社 東京都品川区東五反田二丁目二番七号
☎ (03) 443-7171 (大代表) 〒141

FYケージ

防雷シエルター
工業所有権出願中
特許３件
実用新案４件
意匠５件
商標１件

函館大、2連勝を飾る

北海道学生秋季リーグ戦は、11月1、2、3の3日間北大体育館で男子1部と女子、北星学園体育館で男子2、3部を行った。

男子1部は、春季首位に躍り出た函館大と名門北大が順調に勝ち点をあげ、最終戦で優勝をかけ対戦した。

秀れた攻撃力をもつ函館大は、前半こそ、北大GK大谷の攻守に得点を阻まれていたが、後半になると鋭い動きで着々と加点、鮮やかな2連勝を飾った。

北海道の各大学は、秋季リーグを前に、主力の4年生が〃引退〃するケースが多く、全般的にレベルダウンの印象をまぬがれなかったが、函館大は中心選手が2年生ということもあって、春季の自信を活かし、充実した試合ぶりだった。

2部は函館教大が初、3部は北見工大が勝った。

女子は3校の参加で行われ旭川教大が54年春以降4シーズン連続6度目の優勝を遂げた。

▽男子1部

函館大 27（12—5 15—5）10 北海道工大

北大 15（11—3 4—8）11 旭川教大

北海道工大 19（11—10 8—8）18 室蘭工大

釧路教大 21（10—4 11—6）10 旭川教大

釧路教大 18（9—4 9—7）11 北海道工大

函館大 20（9—4 11—5）9 旭川教大

北大 18（7—3 11—7）10 室蘭工大

函館大 23（11—5 12—7）12 釧路教大

北大 18（12—3 6—5）8 北海道工大

旭川教大 13（10—3 3—6）9 室蘭工大

函館大 23（9—5 14—5）10 室蘭工大

北大 14（9—2 5—5）7 釧路教大

旭川教大 16（5—4 11—7）11 北海道工大

釧路教大 22（12—8 10—5）13 室蘭工大

函館大 16（5—4 11—7）11 北大

【順位】①函館大5戦全勝②北大4勝1敗③釧路教大3勝2敗④旭川教大2勝3敗⑤北海道工大1勝4敗⑨室蘭工大6敗

▽最優秀選手 大谷清介（北大）

▽得点王 宮原秀二（函館大）37

▽優秀選手 堤、宮原、清水（以上函館大）、木村（北大）、伊藤（釧路教大）、西山（旭川教大）

▽同2部

北大水産 20—17 北星

北海学園 14—10 北大水産

函館教大 11—6 小樽商大

小樽商大 13—8 北星

北海学園 8—7 函館教大

小樽商大 17—7 北大水産

北海学園 13—6 北星

函館教大 17—9 北大水産

小樽商大 7—5 北海学園

函館教大 22—11 北星

【順位】①函館教大3勝1敗（得失点差13）②小樽商大3勝1敗（12）③北海学園3勝1敗（4）④北大水産1勝3敗⑤北星学園4敗

▽得点王 盛（函館教大）18

▽同3部

北見工大 21—6 北海学園北見

札幌商大 13—11 道東海大

北見工大 18—14 札幌商大

道東海大 17—7 北海学園北見

札幌商大 13—5 北海学園北見

北見工大 14—7 道東海大

【順位】①北見工大3戦全勝②札幌商大2勝1敗③北海道東海大1勝2敗④北海学園北見3敗

女子は旭川教大勝つ

▽女子

釧路教大 19（8—2 11—2）4 北星

旭川教大 19（9—1 10—0）1 北星

旭川教大 11（5—1 6—2）3 釧路教大

【順位】①旭川教大②釧路教大③北星▽最優秀選手 栃木瞳（旭川教大）

全九州学生
久留米工大、宿願遂げる

第18回（女子第5回）全九州学生選手権は11月1、2の両日大分県総合体育館に男子18、女子2校が参加して行われた。

男子は、やはり地域的には福岡勢が優勢で今回もベストフォアのうち三つを占めた。

準決勝では、連勝を狙う福岡大に地元・大分大が食い下ったが、善戦にとどまり、強豪同士久留米工大×九州産大は、久留米が後半一気に加点、産大を突き放した。

久留米工大×福岡大の決勝は、福岡秋季学生リーグを制している久留米工大が余裕のある試合運びを示し、7—7で前半を終了したあと、速攻を連発させ快勝、宿願の初優勝を飾った。

前年優勝の福岡大は、後半守りの乱れから自滅した。

女子は、いきなり福岡大×九州女短大の決勝となり、序盤から優位に立った福岡大が3年連続3度目の優勝を遂げた。

▽男子1回戦（2試合）

鹿児島大 28（14—3 14—7）10 福岡工大

久留米工大 26（18—7 8—9）16 西南学院

▽同2回戦

福岡大 20（10—5 10—9）14 鹿児島大

西日本工大 不戦勝 長崎国際大

九州大 22（11—5 11—12）17 長崎大

大分大 17（9—6 8—4）10 東和

久留米工大 29（8—7 21—6）13 熊本大

熊本商大 12（6—6 6—2）8 東海大福岡

宮崎大 26（12—9 14—5）14 九州工大

九州産大 21（8—4 13—12）16 琉球大

▽同準々決勝

福岡大 36（20—4 16—8）12 西日本工大

大分大 18（9—8 9—5）13 九州大

久留米工大 31（14—10 17—4）14 宮崎大

九州産大 26（11—7 15—2）9 熊本商大

▽同準決勝

福岡大 21（8—9 13—4）13 大分大

久留米工大 27（10—8 17—4）12 九州産大

▽同3位決定戦

大分大 17（12—8 5—8）16 九州産大

▽同決勝

久留米工大 22（7—7 15—7）14 福岡大

▽女子決勝

福岡大 19（8—4 11—5）9 九州女子短大

中四国　山口大、4シーズンぶり

中四国学生秋季リーグ戦は、10月18、19日の2日間、愛媛県立体育館で行われ、男子1部は山口大が4シーズンぶり11度目の優勝を飾った。

毎シーズンのように最有力優勝候補とされながら、小さなつまづきでタイトルを逃していた山口大は、事実上の優勝戦とみられた広島工大戦で、粘りのあるディフェンスを示し、攻めてもたえず先手をとりつづけ完勝、そのあとの試合も勝ち進んで全勝優勝を飾った

2連勝を目指した広島工大は上位定着を印象づける攻守で2位、昨秋の覇者・広島大福山は部員不足に悩み最下位へ転落、期待の島根大も、上位3校とのチーム差が大きく、伸び悩んだ。

2部は混戦模様となったが広島修道が地元・愛媛大らをおさえ4度目、また3部は高知大、山口大工学部が得失点差で首位を争い、高知大が初優勝した。

一方、4校による女子は11月15、16の両日、呉市の近大体育館で行われ、山口大が新加盟の高知大らを制し、8シーズン連続12度目の優勝を遂げた。

▽男子1部

広島工大 33（14—5, 19—8）13 島根大
山口大 24（13—10, 11—7）17 広大福山
広島工大 18（8—7, 10—9）16 広大福山
広島大 34（20—9, 14—7）16 島根大
山口大 26（14—10, 12—8）18 広島大
山口大 24（13—10, 11—7）17 広島工大
島根大 16（7—8, 9—7）15 広大福山
広島大 16（8—7, 8—9）16 広大福山
山口大 33（18—11, 15—8）19 島根大
広島工大 23（11—8, 12—10）18 広島大

【順位】①山口大4戦全勝②広島工大3勝1分③広島大1勝1分2敗④島根大1勝3敗⑤広大福山1分3敗

▽同2部

岡山大 18（分）18 愛媛大
香川大 22—15 広島修道
香川大 20—18 岡山大
愛媛大 21—19 松山商大
広島修道 31—19 松山商大
愛媛大 19—16 香川大
岡山大 29—20 松山商大
広島修道 23—11 岡山大
松山商大 29—28 香川大
広島修道 18—12 愛媛大

【順位】①広島修道3勝1敗②愛媛大2勝1分2敗③香川大2勝2敗④岡山大1勝1分2敗⑤松山商大1勝3敗

▽同3部

高知大 22—14 山口大(工)
高知大 28—21 近大呉
徳島大 12—8 高知大
高知大 20—11 鳥取大
山口大(工) 22—19 近大呉
山口大(工) 19—14 徳島大
山口大(工) 29—21 鳥取大
近大呉 19—18 徳島大
近大呉 26—23 鳥取大
徳島大 22—13 鳥取大

【順位】①高知大3勝1敗（得失点差20）②山口大工学部3勝1敗（8）③近大呉・徳島大2勝2敗⑤鳥取大4敗。

山口大、岡山県短大おさえる

▽女子

山口大 14（4—1, 10—6）7 高知大
岡山県短大 15（8—4, 7—3）7 岡山大
山口大 24（10—4, 14—2）6 岡山大
岡山県短大 16（9—6, 7—3）9 高知大
高知大 12（3—6, 9—4）10 岡山大
山口大 16（10—6, 6—6）12 岡山県短大

【順位】①山口大3戦全勝②岡山県立短大2勝1敗③高知大1勝2敗④岡山大3敗

中国インカレも山口大

第31回中国5大学学生競技大会で、ハンドボールが初めて正式競技に加えられ、11月8、9日の両日広島・東洋工業体育館で熱戦をくりひろげた。

優戦争いは、中四国学生秋季（前掲）で首位となった山口大が、この大会でも順当な試合運びで4連勝、記念すべき第1回の勝者となった。

山口大 15—14 広島大
島根大 26—22 岡山大
広島大 25—13 鳥取大
山口大 22—11 鳥取大
岡山大 25—22 鳥取大
山口大 22—17 岡山大
広島大 18—17 岡山大
島根大 28—20 鳥取大
山口大 22—17 島根大
広島大 26—17 島根大

【順位】①山口大4戦全勝②広島大3勝1敗③島根大2勝2敗④岡山大1勝3敗⑤鳥取大4敗

広大福山残る

▼中四国学生秋季リーグ1・2部入れ替え戦

広大福山（1部）16（10—5, 6—6）11 広島修道（2部）

▽2～3部

松山商大（2部）27（8—10, 11—9 ┆ 2—1, 2—3 ┆ 3—0, 1—2）25 高知大（3部）

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球（J・H・A）

タチカラ シムレス ボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ　タチカラ株式会社

関東学生3部以下前号未掲載分

▽3部
東京学大 20―17 横浜国大
大東文化 18(分)18 芝浦工大
東　大 29―11 東京理大
東京学大 20―14 横浜商大
【順位】①東大②東京学芸大③東京理大④横浜商科大⑤横浜国大⑥芝浦工大⑦専修⑧大東文化

▽4部
横浜市大 13―12 埼玉大
上　智 21―12 東京工大
防衛大 17―10 東京工大
防衛大 27―17 埼玉大
埼玉大 10―7 神奈川大
埼玉大 14―11 上　智
神奈川大 22―12 東　洋
東京経大 24―22 防衛大
横浜市大 18―10 東京工大
【順位】①上智②横浜国大③防衛大④東洋⑤東京経大⑥埼玉大⑦東京工大⑧横浜市大

▽5部
明治学院 15―12 都留文科
武　蔵 19―18 関東学院
武蔵工大 11―10 一　橋
【順位】①一橋②千葉工大③関東学院④明治学院⑤創価⑥武蔵工大⑦武蔵⑧都留文科

▽6部順位決定戦
・11〜12位
拓　大 不戦勝 農工大
・9〜10位
独　協 33―14 東京工芸大
・7〜8位
亜細亜 不戦勝 東京農大
・5〜6位
和　光 不戦勝 日本工大
・3〜4位
文　教 20―15 千葉大
・首位決定戦
成　蹊 15―14 都立大

▽女子2部順位決定戦
・7〜8位
駒　沢 12―9 創　価
・5〜6位
東　海 12―9 千葉大
・3〜4位
都留文科 19（11―2 8―2）4 横浜国大
▽首位決定戦
千葉明徳短大 21（13―5 8―4）9 文　教

関東・関西学生入れ替え戦

◆関東
▽男子1〜2部
日　大(2部) 16（6―5 10―6）11 順天堂(1部)
慶　応(1部) 23（11―12 12―7）19 明　治(2部)
▽同2〜3部
立　教(2部) 24（12―11 12―9）20 東京学大(3部)
東　大(3部) 30（14―8 16―8）16 青山学院(2部)
▽同3〜4部
専　修(3部) 15―14 神奈川大(4部)
上　智(4部) 22―13 大東文化(3部)
▽同4〜5部
横浜市大(4部) 18―13 一　橋(5部)
千葉工大(5部) 15―12 東京工大(4部)
▽同5〜6部
成　蹊(6部) 19―10 都留文科(5部)
武　蔵(5部) 21―19 都立大(6部)
▽女子1〜2部
千葉明徳短大(2部) 12（6―7 6―4）11 茨城大(1部)

◆関西
▽男子1〜2部
近　大(1部) 26（12―15 14―4）19 大阪府大(2部)
京都産大(1部) 33（18―12 15―7）19 神戸大(2部)
▽同2〜3部
京都教大(3部) 25（15―8 10―6）14 立命館(2部)
大阪市大(2部) 24（13―9 11―6）15 追手門学院(3部)
▽同3〜4部
大阪教大(3部) 24―12 桃山学院(4部)
大阪学院(3部) 20―12 滋賀大(4部)
▽同4〜5部
関西外大(5部) 23―18 京都外大(4部)
京都府大(4部) 20―17 京都工大(5部)
▽女子1〜2部
関　学(2部) 14（4―4 10―2）6 奈良教大(1部)
和歌山大(1部) 7（4―5 3―2）7 京都女大(2部)
和歌山大は1部残留

久留米工大が4戦全勝

◆福岡県学生秋季リーグ（10月）
▽男子1部
久留米工大 27―25 福岡教大
福岡大 26―22 九州産大
久留米工大 30―18 西南学院
九州産大 23―20 福岡教大
久留米工大 27―20 九州産大
福岡大 36―17 西南学院
九州産大 32―9 西南学院
福岡教大 20―19 福岡大
福岡教大 29―16 西南学院
久留米工大 23―18 福岡大
【順位】①久留米工大4戦全勝②福岡大・九州産大・福岡教大2勝2敗⑤西南学院4敗
（注）男子2部と女子は次号

慶応、早稲田を破る

▼第28回早慶定期戦（11月22日・早大）
▽高校戦
慶応高 11―10 早大学院
▽OB戦
稲門ク(早) 22―18 三田ク(慶)
▽現役戦
慶　応 21（9―9 12―10）19 早稲田
慶応は4連勝、通算成績は早稲田の11勝2分15敗。

モルテン
ハンドボール
日本ハンドボール協会検定球<J.H.A.>
国際ハンドボール連盟公認球<I.H.F.>
モルテンゴム工業株式会社

この看板のお店でご相談ください。

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB_1・肝臓分解エキス・ビタミンB_{12}製剤

キヨーレオピン

●朝鮮人参・麝香・牛黄・ビタミンB_1・にんにく抽出エキス製剤

レオピンファイブ

週に一度は スポーツを

健康づくりは毎日の快眠・快食から…
それに適度なスポーツも欠かせません。
私達は皆様の健康を願って
薬品づくりに努めます。

湧永薬品株式会社

ワクナガ 本社 〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号
TEL.(06)458―8901
中央研究所 広島工場 〒729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲立1624
TEL.(082645)2331

テーマは「人間と機械」

「機械にできることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである」…
これが立石電機のモットーです。

技術の原点オートメーション機能部品

産業用無人化システム

都市の交通制御システム

鉄道の駅務自動化システム

銀行の窓口省力化システム

ガソリン・スタンドのPOSシステム

オフィスのコンピュータ・システム

小売店頭の電子レジスター

OMRON
立石電機

立石電機株式会社/本社
〒616 京都市右京区花園土堂町10
TEL 075(463)1161大代

各地の記録

海上下総、辛くも優勝

▼千葉県実業団秋季リーグ（10月・丸善石油千葉体育館）＝男子のみ

▽1部
三井石化 29―14 日産石化
丸善千葉 25―13 出光千葉
三井石化 32―14 海自木更津
日産石化 20―18 丸善千葉
三井石化 20―17 丸善千葉
海自下総 30―24 三井石化
出光千葉 22―14 海自木更津
日産石化 20―6 海自木更津
海自下総 22―17 出光千葉
丸善千葉 24―19 海自下総
出光千葉 22―15 日産石化
丸善千葉 23―10 海自木更津
海自下総 不戦勝 海自木更津
海自下総 18―12 日産石化
三井石化 28―17 出光石化
【順位】①海自下総4勝1敗②三井石油化学4勝1敗（下総×三井戦の勝者が上位）③丸善石油千葉3勝2敗④出光千葉・日産石油化学2勝3敗⑥海自木更津補所5敗▽個人最多得点 村井（三石）29

▽2部（1試合）
東電千葉 15―11 住友化学

男子は延長で八幡工

▼滋賀県秋季総体（11月・彦根）

▽高校男子決勝トーナメント1回戦
彦根東 18―13 米原
八幡工 24―7 彦根西

▽同決勝
八幡工 16（6―10、9―5、…、0―0、1―0）15 彦根東

▽同女子決勝トーナメント1回戦
彦根西 12―5 彦根南
守山女 15―9 大津商

▽同決勝
彦根西 11（5―3、6―3）6 守山女

御坊商工、粉河とも7度目

▼和歌山県高校新人大会（11月・新宮高）

▽男子準々決勝
御坊商工 17―5 県和歌山商
桐蔭 22―9 箕島
耐久 19―14 那賀
粉河 24―11 笠田

▽同準決勝
御坊商工 25―7 桐蔭
粉河 11―8 耐久

▽同決勝
御坊商工 13（8―3、5―7）10 粉河

▽女子1回戦（2試合）
県和歌山商 19―3 耐久
新宮 10―6 笠田

▽同準決勝
粉河 9―2 県和歌山商
御坊商工 7―2 新宮

▽同決勝
粉河 9（4―3、5―0）3 御坊商工

群馬は富岡と群女短大付

▼群馬県高校新人大会（11月・群女短大付高）

▽男子決勝リーグ
前橋商 23―12 下仁田
富岡 10（分）10 吉井
吉井 20―16 前橋商
富岡 27―5 下仁田
吉井 33―7 下仁田
富岡 24―8 前橋商
【順位】①富岡2勝1分（得失点差38）②吉井2勝1分（30）③前橋商④下仁田

▽女子決勝リーグ
群女短大付 9―5 前橋市女
吉井 9―6 高崎市女
群女短大付 5―4 高橋市女
吉井 9―2 前橋市女
群女短大付 11―10 吉井
高崎市女 8―6 前橋市女
【順位】①群女短大付②吉井③高崎市女④前橋市女

日川のカップル優勝成る

▼山梨県高校新人大会（11月・甲府）

▽男子準々決勝
吉田 16―14 塩山
甲府一 28―8 東海
日川 棄権 大月
明誠 17―15 甲府工

▽同準決勝
甲府一 28―14 吉田
日川 25―6 明誠

▽同3位決定戦
吉田 16―11 明誠

▽同決勝
日川 23（11―4、12―8）12 甲府一

▽女子準々決勝
日川 17―2 甲府南
桂 11―6 吉田
山梨 21―2 甲府一
甲府一商 11―1 甲府西

▽同準決勝
日川 15―2 甲府一商
山梨 8―6 桂

▽同3位決定戦
桂 9―3 甲府一商

▽同決勝
日川 11（6―4、5―1）5 山梨

大塚ク、泉丘会をしのぐ

▼第4回宮崎県リーグ（6月～11月・県体育館ほか）＝男子のみ

小林ク 23―22 宮崎大
小林ク 24―16 日南ク
小林ク 23―12 都城工専
小林ク 16―15 県北ク
大塚ク 29―19 小林ク
大塚ク 30―26 宮崎大
大塚ク 28―16 山びこク
小林ク 15―15 山びこク
大塚ク 33―22 日南ク
大塚ク 34―20 都城工専
大塚ク 29―28 県北ク
大塚ク 22―22 泉丘会
宮崎大 22―18 山びこク
宮崎大 22―16 日南ク
宮崎大 19―11 都城工専
山びこク 18―17 日南ク
山びこク 16―13 都城工専
山びこク 12―11 県北ク
日南ク 22―15 都城工専
県北ク 24―17 宮崎大
県北ク 25―19 日南ク
県北ク 34―18 都城工専
泉丘会 18―16 小林ク
泉丘会 20―17 宮崎大
泉丘会 15―14 山びこク
泉丘会 26―18 日南ク
泉久会 28―13 都城工専
泉丘会 25―22 県北ク
【順位】①大塚ク6勝1分（得点差52）②泉丘会6勝1分（32）③小林ク④山びこク⑤県北ク⑥宮崎大学⑦日南ク⑧都城工専

▼昭和55年度東京都高校秋季新人戦（11月・拓大一高ほか）

▽男子準々決勝
中大附 23―10 立川
拓大一 14―7 国立
駒大附 15―12 新宿
明星 34―10 筑大駒場

▽同準決勝
中大附 21―18 拓大一
明星 20―10 駒大附

▽同三位決定戦
駒大 17―8 拓大一

▽同決勝
明星 22（8―7、14―6）13 中大附

男女とも小松勢勝つ

◆石川県高校新人大会（11月・石川県体育館）

▽男子準々決勝
寺井 21—9 星稜
県工 4—2 向陽
小松工 21—10 泉丘
小松 17—2 北陸大谷

▽同準決勝
寺井 11—7 県工
小松 11—10 小松工

▽同決勝
小松 19（9—6 10—5）11 寺井

▽女子1回戦（2試合）
金沢商 7—2 松任
星稜 14—2 加賀

▽同準決勝
小松市女 34—0 星稜
金沢商 7—5 小松商

▽同決勝
小松市女 29（15—0 14—1）1 金沢商

水海道二、太田二を制す

▼茨城県高校新人選手権（11月・笠間高ほか）

▽男子準々決勝
笠間 18—17 水海道一
土浦工 13—11 岩井
麻生 13—10 石岡一
古河三 22—21 土浦工

▽同準決勝
笠間 22—21 土浦工
古河三 13—9 麻生

▽同3位決定戦
土浦工 19—12 麻生

▽同決勝
笠間 12（7—5 5—5）10 古河三

▽女子準々決勝
鉾田二 9—7 竜ケ崎一
太田二 8—1 日立二
笠間 6—4 友部
水海道二 19—4 高萩

▽同準決勝
太田二 4—0 鉾田二
水海道二 15—1 笠間

▽同3位決定戦
笠間 7—4 鉾田二

▽同決勝
水海道二 11（6—4 5—2）6 太田二

男子で船橋旭が初優勝

▼千葉県高校新人大会（11月・小金高ほか）

▽男子準々決勝
船橋旭 19—10 八千代
佐原 16—15 市川
千葉南 16—7 上総
柏 16—11 東邦

▽同準決勝
船橋旭 16—8 佐原
柏 13—10 千葉南

▽同決勝
船橋旭 19（10—7 9—6）13 柏

▽女子準々決勝
東邦 15—9 流山中央
昭和学院 17—8 生浜
明徳 21—3 市立柏
和洋 9—6 佐原女

▽同準決勝
昭和学院 15—5 東邦
和洋 9—4 明徳

▽同決勝
昭和学院 18（9—1 9—2）3 和洋

OGリーグは島原農

▼第32回長崎県民体育大会（11月・長崎工）

▽男子準決勝
長崎養護校 16—15 海自大村航空
海自佐世保 26—12 長崎高南ク

▽同決勝
海自佐世保造修所 27（12—5 15—9）14 長崎養護校

▽女子リーグ
島原農ク 9—4 長崎北高ク
佐世保商ク 17—12 長崎北高ク
島原農ク 13—7 佐世保商ク

倉敷商が7年ぶり

▼第35回岡山県高校新人大会（11月・津山商）

▽男子準々決勝
総社 18—7 倉敷南
倉敷工 18—11 天城
倉敷商 21—9 操山
水島工 13—10 岡山工

▽同準決勝
倉敷工 18—9 総社
倉敷商 24—13 水島工

▽同3位決定戦
水島工 17—5 総社

▽同決勝
倉敷商 18（9—9 9—5）14 倉敷工

▽女子準々決勝
総社 10—9 倉敷商
落合 10—3 大安寺
天城 12—7 児島
真備 11—3 西大寺

▽同準決勝
落合 10（分）10 総社
PTC3—2で落合の勝ち
真備 7—5 天城

▽同3位決定戦
天城 10—8 総社

▽同決勝
真備 10（4—6 6—3）9 落合

金沢あすなろク強し

▼石川県クラブ選手権（11月・金沢美工大体育館）＝男子のみ

▽準々決勝
寺井ク 16（延）15 星稜ク
県工ク 19—13 津幡ク
小松ク 21—10 七尾ク
金沢あすなろク 36—14 レインボー

▽同準決勝
県工ク 16—15 寺井ク
金沢あすなろク 17—15 小松ク

▽同決勝
金沢あすなろク 22（12—9 10—2）11 県工ク

自衛隊勝田が全勝

▼第3回茨城県一般男子リーグ（11月）

▽1部
自衛隊勝田 23—12 鉾田ク
日本原研 19—12 茨城大
茨苑ク 14（分）14 鉾田ク
自衛隊勝田 不戦勝 茨苑ク
茨城大 24—16 茨苑ク
日本原研 33—16 茨苑ク
笠間ク 24—19 日本原研
茨城大 23—10 鉾田ク
笠間ク 24—16 茨苑ク
自衛隊勝田 25—18 笠間ク
自衛隊勝田 24—15 日本原研
笠間ク 26—5 鉾田ク
茨城大 不戦勝 笠間ク
自衛隊勝田 不戦勝 茨城大
日本原研 16—14 鉾田ク

【順位】①自衛隊勝田5戦全勝②茨城大・日本原研・笠間ク3勝2敗⑤鉾田ク1分4敗⑥茨苑ク1分4敗

【2部順位】①筑波振球会②筑決ラバーズ③土浦ク④土浦三OB⑤常陽銀行⑥自衛隊古河⑦城南ク⑧麻生ク

本誌1月はお休み

本誌は例年どおり1月号（56年）を休刊いたします。

なお、現在の刊行が予定日より遅れ、読者の皆さまにごめいわくをおかけしていますが、55年度内に正常刊行を目指しておりますので、ご了承下さい。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一九二号
昭和四十年六[illegible]日 第三種郵便物認可
昭和五五年十一月二十五日印刷
昭和五五年十二月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表（467）七〇九七
振替 東京 六－五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五十円（年間購読料三千三百円）

アシックスタイガーのハンドボールシューズはスタートダッシュが鋭く速くでき、ストップが確実にできるシューズマシンです。だから どのような状況のプレーにも「一歩速く」スムースに動くことができます。従ってディフェンスを抜くことも容易でノーマークの状況をつくり出すことができます。また「攻」から「守」への転換もスムースで速くできます。
勝つために この一足を ぜひ。

asics TIGER
Handball Shoes
ハンドボールBK

ハンドボールBK（THH703） ■甲被は牛皮カラーベロア。 ■底はノンスリップ意匠底。 ■タコの吸盤の原理を応用した特殊ソール。
■レッド×ホワイト、ブルー×ホワイト ■サイズ 22.5〜28.0cm